２０１４（平成２６）年度

事業報告書

２０１５年 5月２８日

学校法人昭和女子大学

目　次

1.　法人の概要

Ⅰ	設置する学校・学部・学科等	4
Ⅱ	組織構成・組織別職員配置図	5
Ⅲ	学校・学部・学科等の入学定員、学生数の概要	6
Ⅳ	役員・教職員の概要	7

2.　事業の概要

Ⅰ	学園全体	12
Ⅱ	大学院・大学	18
Ⅲ	附属昭和中学校・高等学校	52
Ⅳ	附属昭和小学校	55
Ⅴ	附属昭和幼稚園	57
Ⅵ	人見記念講堂	58
Ⅶ	光葉博物館	60
Ⅷ	昭和ボストン	61
Ⅸ	地域連携センター	62
Ⅹ	その他関連事業	65

3.　財務の概要

Ⅰ	消費収支計算書	70
Ⅱ	資金収支計算書	72
Ⅲ	貸借対照表	73
	財産目録	74
	比較資金収支計算書	75
	比較消費収支計算書	76
	比較貸借対照表	77
	参考資料	78
	監査報告書	82

１　法人の概要

Ⅰ　設置する学校・学部・学科等

1. **昭和女子大学**　（学長：坂東眞理子）

大学院	文 学 研 究 科	日本文学専攻
		英米文学専攻
		言語教育･コミュニケーション専攻
		文学言語学専攻
	生活機構研究科	生活文化研究専攻
		心理学専攻
		福祉社会研究専攻
		人間教育学専攻
		環境デザイン研究専攻
		生活科学研究専攻
		生活機構学専攻
学　部	人間文化学部	日本語日本文学科
		英語コミュニケーション学科
		歴史文化学科
		国際学科
	グローバルビジネス学部	ビジネスデザイン学科
	人間社会学部	心理学科
		福祉社会学科
		現代教養学科
		初等教育学科
	生活科学部	環境デザイン学科
		健康デザイン学科
		管理栄養学科

2. **昭和女子大学附属　昭和高等学校**　（校長：大泉章子）

3. 〃　**昭 和 中 学 校**　（校長：大泉章子）

4. 〃　**昭 和 小 学 校**　（校長：小泉清裕）

5. 〃　**昭 和 幼 稚 園**　（園長：小泉清裕）

6. **ブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和**　（校長：ブライアン・クリスチャン）

Ⅱ　組織構成図

組織別職員配置図　　（5月1日現在）

- 評議員会
- 理事長 理事会
  - 監査室　1名
  - 学園本部
    - 経営企画部　3名　（兼-1名）
      - 秘書担当　1名　（兼-1名）
      - NPO担当　2名
      - 設備担当　3名
      - 海外事業担当　1名
      - 情報メディア担当　4名
    - 総務部　2名
      - 総務担当　4名
      - 業務担当　5名　（兼-1名）
      - 創立者記念講堂担当　5名
      - 昭和学園健康管理センター
      - 東明学林　5名
      - 望秀海浜学寮　3名
    - 人事部　6名
    - 財務部　1名
      - 財務担当　1名　（兼-1名）
      - 資金運用担当　1名　（兼-1名）
      - 管財担当　1名
      - 会計担当　4名
  - 大学
    - 大学院
      - 文学研究科
      - 生活機構研究科
        - 女性文化研究所　1名
        - 近代文化研究所　2名
        - 国際文化研究所　1名
        - 生活心理研究所
    - 人間文化学部　17名
    - グローバルビジネス学部　2名
    - 人間社会学部　15名
    - 生活科学部　23名
    - 総合教育センター　4名
    - 研究支援機器センター
    - 現代ビジネス研究所
    - 図書館
      - 情報管理担当　8名
    - 光葉博物館　1名
    - 広報部　2名
    - 大学事務局　1名
      - 学長補佐担当　4名
      - 研究支援担当　6名
    - 教育支援センター　1名　（兼-1名）
      - 教務担当　9名
    - 学生支援センター　1名　（兼-1名）
      - 学生担当　9名
    - キャリア支援センター　2名　（兼-2名）
      - キャリア支援　8名
      - ライティングサポート　1名　（兼-1名）
    - アドミッションセンター　1名　（兼-1名）
      - アドミッション担当　8名
    - 国際交流センター　2名　（兼-1名）
      - 国際交流担当　6名
    - 地域連携センター　1名　（兼-1名）
      - 地域連携担当　2名　（兼-1名）
  - 中高部
    - 高等学校
    - 中学校
      - 庶務室　4名
      - 図書室　1名
  - 初等部
    - 小学校
      - 庶務室　2名
  - 幼稚部
    - 幼稚園
      - 庶務室　1名
  - ブリテッシュスクール
    - 初等教育科
    - 中等教育科
    - 高等教育科
      - 事務室　21名
- Showa Boston Institute for Language and Culture, Inc.
- ボストン昭和女子大学

Ⅲ　学校・学部・学科等の入学定員、学生数の概要

（5 月 1 日現在）

学部・学科名等		入学定員（編入）	入学者数（編入）	1年次入学定員充足率（倍）	収容定員 含、編入定員	現員 1年	2年	3年	4年	5年	6年	現員計	収容定員充足率（倍）
大学院	文学研究科博士後期課程												
	英米文学専攻	募集停止	―	―	3	―	―	1				1	0.33
	言語教育・コミュニケーション専攻	募集停止	―	―	3	―	―	9				9	3.00
	文学言語学専攻　※H25年度開設	5	3	0.60	10	3	3	―				6	0.60
	生活機構研究科博士後期課程												
	生活機構学専攻	5	4	0.80	15	4	2	10				16	1.06
	博士後期課程計	**10**	**7**	**0.70**	**31**	**7**	**5**	**20**				**32**	**1.03**
	文学研究科博士前期課程												
	日本文学専攻	5	0	0.00	10	0	1					1	0.10
	英米文学専攻	5	2	0.40	10	2	1					3	0.30
	言語教育・コミュニケーション専攻	10	2	0.20	20	2	1					3	0.15
	生活機構研究科修士課程												
	生活文化研究専攻	10	8	0.80	20	8	7					15	0.75
	心理学専攻	20	13	0.65	40	13	9					22	0.55
	人間教育学専攻	10	3	0.30	20	3	6					9	0.45
	生活科学研究専攻	5	2	0.40	10	2	3					5	0.50
	環境デザイン研究専攻	5	4	0.80	10	4	8					12	1.20
	福祉社会研究専攻	5	2	0.40	10	2	5					7	0.70
	博士前期（修士）課程計	**75**	**36**	**0.48**	**150**	**36**	**41**					**77**	**0.51**
	大学院合計	**85**	**43**	**―**	**181**	**43**	**46**	**20**				**109**	**―**
大学	人間文化学部												
	日本語日本文学科	120	144　(3)	1.20	480	144	159	123	152			578	1.20
	英語コミュニケーション学科	160	204　(9)	1.27	640	207	191	174	191			763	1.19
	歴史文化学科	85	103　(4)	1.21	340	103	100	100	106			409	1.20
	国際学科	70	93　(3)	1.32	280	93	84	82	88			347	1.23
	人間文化学部計	**435**	**544　(19)**	**1.25**	**1,740**	**547**	**534**	**479**	**537**			**2,097**	**1.20**
	グローバルビジネス学部												
	ビジネスデザイン学科　※H25年度開設	100	105	1.05	200	105	156	―	―			261	1.30
	グローバルビジネス学部計	**100**	**105**	**1.05**	**200**	**105**	**156**	**―**	**―**			**261**	**1.30**
	人間社会学部												
	心理学科	75	87　(2)	1.16	300	87	93	91	87			358	1.19
	福祉社会学科	70	109	1.55	280	109	82	83	80			354	1.26
	現代教養学科	80	93　(9)	1.16	320	93	101	97	109			400	1.25
	初等教育学科	100	106　(3)	1.06	400	106	110	107	108			431	1.07
	人間社会学部計	**325**	**395　(14)**	**1.21**	**1,300**	**395**	**386**	**378**	**384**			**1,543**	**1.18**
	生活科学部												
	環境デザイン学科	160	191	1.19	640	192	207	175	188			762	1.19
	健康デザイン学科	75　(5)	77　(3)	1.02	310	77	84	80	82			323	1.04
	管理栄養学科	72　(8)	79　(2)	1.09	304	79	84	75	79			317	1.04
	生活科学部計	**307　(13)**	**347　(5)**	**1.13**	**1,254**	**348**	**375**	**330**	**349**			**1,402**	**1.11**
	大学合計	**1,167　(13)**	**1,391　(38)**	**―**	**4,494**	**1,395**	**1,451**	**1,187**	**1,270**			**5,303**	**―**
短期大学部（募集停止中）	文化創造学科	募集停止	―	―	―	―	―					―	―
	学科計	―	―	―	―	―	―					―	―
	国語国文学専攻	募集停止	―	―	―	―						―	―
	英語英文学専攻	募集停止	―		―	―						―	
	生活文化学専攻	募集停止	―		―	―						―	
	専攻科計	―	―		―	―						―	
	短期大学部合計	**―**	**―**	**―**	**―**	**―**	**―**					**―**	**―**
附属校	高等学校	252	225	0.89	756	226	222	246				694	0.91
	中学校	252	218	0.86	756	218	218	235				671	0.88
	小学校	120	108	0.90	720	108	112	103	110	109	96	638	0.88
	幼稚園　＊募集人数(入学定員無)	＊45	46	1.02	120	3歳児 35	4歳児 43	5歳児 42				120	1.00
	附属校合計	**669**	**597**	**―**	**2,352**							**2,123**	**―**
ブリティッシュ・スクール	初等教育科 ＊学年定員（入学定員無） Year4 ＊60 Year5 ＊60 Year6 ＊60		7	―	180	Year4 65	Year5 65	Year6 61				191	1.06
	中等教育科 ＊学年定員（入学定員無） Year7 ＊35 Year8 ＊35 Year9 ＊35		13	―	105	Year7 48	Year8 45	Year9 40				133	1.26
	高等教育科 ＊学年定員（入学定員無） Year10 ＊25 Year11 ＊25 Year12 ＊25 Year13 ＊25		13	―	100	Year10 42	Year11 23	Year12 28	Year13 17			110	1.10
	ブリティッシュ・スクール合計	―	**33**	**―**	**385**							**434**	**―**
学園総計		―	**2,064　(38)**	**―**	**7,412**							**7,969**	**―**

Ⅳ　役員・教職員の概要

（5 月 1 日現在）

1.　理事会

理事　　現員 10 人（定員 10～11 人）うち外部理事 4 人＝*

理 事 長	坂東眞理子
常務理事	江口雄輔
理　　事	上山綾子 **
理　　事	金子朝子
理　　事	大泉章子
理　　事	阿部　博
理　　事	小原奈津子
理　　事	ジョージ・オルコット ＊
理　　事	門口正人 ＊
理　　事	日比谷武 ＊

監事　　現員 2 人（定員 2～3 人）うち外部監事 1 人 ＊

監　　事	河村幹夫 ＊
監　　事	川﨑朝夫

理事会の開催回数　2014 年度 12 回
理事会の議事内容　別表 1 参照

2.　評議員会

評議員　　現員 32 人（定員 28～38 人）

第 1 号評議員［教職員］14 人
江口雄輔、阿部 博、小島 徹、小原奈津子、會川惠志、垣上正一、金尾 朗、
小泉清裕、奈木野昌一、生天目博、畑原寿俊、保坂邦夫、松本 孝、武藤空男

第 2 号評議員［卒業生］14 人
金子朝子、大泉章子、安蔵裕子、安西美津子、稲穂照子、鵜養啓子、太田鈴子、上山綾子**、
木間英子、榛葉央子、田部井淳子、中田彰生、福住真由美、蕨迫栄美子

第 3 号評議員［学識経験者］3 人
平尾光司、横井千香子、渡辺満利子

第 4 号評議員［理事長］1 人
坂東眞理子

評議員会の開催回数　2014 年度 4 回
評議員会の議事内容　別表 2 参照

**上山綾子理事・評議員は 2014 年 12 月 29 日に逝去されました。

3.　教職員数　（総数 590 人：専任教員 384 人・専任職員 206 人）

部門	専任教員数	専任職員数	部門	専任教員数	専任職員数
法人本部	0 人	48 人	附属昭和中学校	41 人	2 人
昭和女子大学	213 人	129 人	附属昭和小学校	34 人	2 人
附属昭和高等学校	40 人	3 人	附属昭和幼稚園	9 人	1 人
ブリティッシュ・スクール	47 人	21 人			

［別表］

1：理事会の議事内容

回数	開催年月日	監事の出席	議事内容
第 456 回	4 月 1 日	有	理事長及び常務理事の選任に関する件
第 457 回	4 月 17 日	有	ブリティッシュ・スクールの学納金改定に関する件
			平成 27 年度附属校学納金及び検定料に関する件
			借入金連帯保証人の変更に関する件
			名誉職に関する件
			教職員表彰及び永年勤続表彰に関する件
			短期大学部廃止認可申請に関する件
			昭和ボストン理事の選任に関する件
			附属昭和幼稚園細則の一部改定について
			入試結果について
			創立者記念講堂管理規程及び外部貸出規程改定について
			創立 94 周年記念式について
			寄付金報告
			常勤役員会報告
第 458 回	5 月 22 日	有	平成 25 年度決算に関する件
			平成 25 年度事業報告に関する件
			こども園の建設業者に関する件
			隣接地の購入に関する件
			学園の財政状況について
			常勤役員会報告
第 459 回	6 月 19 日	有	平成 27 年度大学学納金及び検定料に関する件
			平成 27 年度学生寮費に関する件
			教員資格審査に関する件
			懲戒に関する件
			隣接校地・校舎取得に関する件
			平成 25 年度消費収支内訳について
			校地・校舎計画の進捗状況について
			昭和ボストンの状況報告
			常勤役員会報告
第 460 回	7 月 24 日	有	評議員改選に関する件
			教員資格審査に関する件
			保育士養成施設の科目変更に伴う学則変更に関する件
			昭和女子大学 IR 推進専門委員会規程に関する件
			教学系委員会構成メンバーの追加について
			平成 25 年度就職状況について
			ブリティッシュ・スクールの校舎変更について
			100 周年記念募金委員会活動報告
			寄付金報告
			常勤役員会報告
第 461 回	9 月 18 日	有	平成 26 年度給与改定等について
			採用承認手続きの見直しに関する件
			教員資格審査に関する件
			校地校舎変更に関する件
			第 3 号評議員の選任について

			首都圏主要大学の平成25年度決算について
			こども園の建設計画について
			ブリティッシュ・スクール校舎変更届の見送りについて
			地域連携センター規程について
			100周年募金委員会途中経過報告
			短期大学部廃止認可の報告
			常勤役員会報告
第462回	10月23日	有	教員資格審査に関する件
			現代教育研究所の設置に関する件
			初等部アフタースクールに関する件
			新校地取得に関する件
			大学将来構想検討委員会の再設置について
			平成26年度予算執行状況について
			常勤役員会報告
第463回	11月20日	有	教員資格審査に関する件
			教職員人事関連規程改定及び期中人事異動に関する件
			高等学校学則変更に関する件
			平成27年度予算編成方針に関する件
			昭和ボストンの留学費用に関する件
			資金運用細則の改定について
			公的研究院の管理・監査のガイドライン改正に伴う対応について
			初等部アフタースクールについて
			こども園運営について
			新校地取得に関する報告
			レジデンス太子堂について
			株式会社カリヨン第9期決算報告
			女子大の動向について
			常勤役員会報告
第464回	12月18日	有	教員資格審査に関する件
			小学校学則変更に関する件
			附属校教員採用に関する報告
			事務職員採用に関する報告
			資金運用細則の改定について
			大学の入試状況について
			ホームカミング・デーについて
			常勤役員会報告
第465回	1月22日	有	寄附行為第6条第1項第2号前段理事候補者選出に関する件
			平成27年度教員役職者人事に関する件
			教員資格審査に関する件
			懲戒に関する件
			附属校教員採用に関する報告
			常勤役員会報告
第466回	2月19日	有	平成27年度職員役職者人事に関する件
			教員資格審査に関する件
			評議員改選に関する件
			女性健康科学研究所設置に関する件
			大学将来構想に関する件
			大学学則及び学位規則変更に関する件
			学校教育法改正に伴う学内規程の改定について
			預かり保育に関する細則について
			昭和女子大学サポーターズ・ネットワーク（仮称）について
			新校舎の建築について
			常勤役員会報告
第467回	3月19日	有	平成26年度補正予算に関する件
			平成27年度予算に関する件
			平成26年度高校入学支度金借入に関する件
			教員資格審査に関する件

			大学入学試験に関する業務手当の改定に関する件
			平成 28 年度大学入学試験検定料の改定に関する件
			平成 27 年度事業計画に関する件
			平成 27 年度職員役職者人事追加案件に関する件
			こども園の設置に関する件
			創立者記念講堂のフランチャイズ契約に関する件
			オープンカレッジ有料講座について
			附属校教員採用について
			中高部「SHOWA NEXT」について
			新校舎の建築について
			大学将来構想検討委員会報告
			常勤役員会報告

2：評議員会の議事内容

回数	開催年月日	監事の出席	議事内容
169 回	5 月 22 日	有	平成 25 年度決算報告
			平成 25 年度事業報告
170 回	9 月 18 日	有	評議員改選に関する件
			校地校舎変更に関する件
			短期大学部廃止認可の報告
171 回	1 月 23 日	有	寄附行為第 6 条第 1 項第 2 号前段理事の互選に関する件
172 回	3 月 19 日	有	平成 26 年度補正予算に関する件
			平成 27 年度予算に関する件
			平成 26 年度高校入学支度金借入に関する件
			平成 27 年度事業計画に関する件
			新校舎の建築に関する件
			こども園の設置に関する件
			評議員の改選について

2　事業の概要

Ⅰ　学園全体

1.　組織・人事

A.　事務組織の見直し

中期計画の必達を目的として実施した前年度の組織変更について、一年間の運用を経て再評価を行い、業務遂行の一層の迅速化と効率化を図る観点から改組を行った。

具体的には人的資源を大学部門に集約したが、横断的に学園全部門に関連する業務（施設、IT 等）の効率の低下や、意思決定プロセスが多層化する弊害が生じたため、大学部門の主要業務（教育・研究）を支援する本来の姿に戻し、学園を横断する業務は学園本部へ移行した。

また、学園と世田谷区を中心とした地域・社会との様々な連携推進を担当する部署として、新たに地域連携センターを発足させ、新規事業としてキャリアカレッジ事業を推進しつつ、これまで取り組んできたオープンカレッジ事業については、一定の時間をかけて開設講座を見直すこととした。

B.　人事計画

大　学：2017 年度にかけて急増する定年退職者数を踏まえ、数年先を見込んだ教員採用計画に基づき、一定の枠内で先行採用することにより、各学科における退職者の影響を軽減する対応を行った。また、職員と同様に多様な勤務形態の選択が可能となるよう、2012 年度より経常費補助金も受給可能となる特命教員制度を設定して優秀な教員を採用し易くしている。

【大学教員採用数】　2013 年度 21 人　⇒　2014 年度 16 人

附　属：中高部、初等部ともに退職教員を補充、幼稚部については 2016 年度から総合こども園に移行する計画に基づき、2015 年度中に新たな教職員を採用する予定であるため、年度内の採用は実施しなかった。

職　員：事務職員の歪な年齢構成を是正し、若年層（20 代）の絶対数不足に対応するため、前年度に引き続き公募による厳選採用を行った。

C.　人件費比率と適正配分

中期計画の目標「人件費比率 52%程度」をテーマに継続して取り組み、本俸と期末手当の合計額については 5 年前と比較し微減となっているが、人件費比率の 5 年間平均は 55.3%となっている。

限られた原資の中で若年層の本棒水準については定期昇給時に特別是正を行うとともに、2014 年度から期末手当の年間支給月数を 0.3 か月増とし年間 5.0 か月としたが、併せて教職員の貢献により報いることが出来るように、評価配分の割合を拡大したことにより適正な増額に収まった。

2.　SD 研修

A.　TOEIC テスト

全職員に受講を義務化した TOEIC® IP テストの実施状況は以下の通り。

受験対象者総数	学内 IP テスト実施日	受験者状況	未受験者
170 人 受験免除者*：7 人を除く *TOEIC 800 点超の者	2014 年 8 月 7・8 日	学内受験者：163 人 個人受験者：　5 人 合計：168 人 受験率：98.8%	2 人 業務都合

B.　ボストン職員研修

ボストンで職員研修を 9 月 10 日（水）～9 月 17 日（水）に実施し、本学職員（中高部・日本語日本文学科・歴史文化学科・初等教育学科・キャリア支援・アドミッションに所属）6 人が、昭和ボストン校や近郊 3 大学(ブランダイズ大学、ウィーロックカレッジ、ウェルズリーカレッジ)を視察した。

C.　若手職員 SD 研修「昭和女子大学クリエイティブ・プロジェクト」の発足

SD 活動の一環として年度末で 40 歳未満の常勤職員 23 人で構成する上記プロジェクトを発足した。このプロジェクトは「①学園のブランド力向上、②学生・生徒・児童・園児また保護者への高質なサービスの創出、③将来にわたり社会から評価され、選ばれる教育機関であり続ける、④昭和学園に勤務する教職員の一体感、満足感の醸成」を目指し、1 年間の活動により自ら設定した目標達成に取り組む。
プロジェクト推進のために様々な学内インフラを活用することは勿論のこと、幹部教職員がメンターとなる等の全面的なバックアップ体制を敷く。2014 年度は準備段階として本学を取り巻く課題について、11 月 14 日、21 日、12 月 22 日の 3 日間にわたり、本学広報部長および外部講師 2 人による特別研修を行い、当プロジェクトの基盤となる知識の吸収に努めた。

3.　地域連携

5 月 28 日には世田谷区と産学連携・協力に関する包括協定を締結した。これから地域課題に共同で取り組むことで社会と一体となり、信頼・支持される学園を目指していく。

4.　キャンパスの整備・改修工事

2014 年度に行った主な改修工事等は以下の通りである。

内容	金額
（全学）中央グラウンド　人工芝張替工事	79,920,000 円
（全学）視聴覚機器更新工事	12,793,680 円
（全学）コピー機・複合機更新	18,844,380 円
（大学 1 号館）西側外壁防水補修工事	13,760,301 円
（大学 1 号館）0L03＜屋内気候実験室＞空調機更新工事	4,320,000 円
（大学 1・3 号館）普通教室ブラインド更新工事	8,737,200 円
（研究館）特別収蔵庫空調システム更新工事	6,450,000 円
（アドミッションセンター）事務所改修工事	3,061,800 円
（キャリア支援センター）事務所改修工事	2,446,200 円
（図書館）80 年館 3 階　西口入退館ゲート設置工事	4,940,000 円
（創立者記念講堂）排煙筒塔屋・屋上タイル面防水補修工事	22,429,440 円
（初等部）グラウンド防球ネット設置工事	6,281,280 円
（初等部）北側バルコニー防水補修工事	3,790,800 円
（中高 1 号館）北面外壁防水補修工事	10,800,000 円
（中高 2 号館）換気設備設置工事	5,508,000 円
（東明学林）トイレ改修工事 1 期	68,580,000 円
（東明学林）汐見テラス防水補修工事	12,312,000 円
（東明学林）食堂パーティション改修工事	2,192,400 円
（望秀海浜学寮）大浴室脱衣場・シャワー室改修工事	8,999,640 円

（望秀海浜学寮）食堂エアコン更新工事		8,586,000 円
（望秀海浜学寮）食堂家具更新		7,268,400 円
（望秀海浜学寮）管理棟屋根防水補修工事		3,024,000 円
（大学 3 号館・中高 2 号館）空調機交換工事	＊省エネ対策	53,784,000 円
（創立者記念講堂）照明器具更新工事	＊省エネ対策	9,288,000 円
（研究館）照明器具更新工事	＊省エネ対策	24,375,600 円
（図書館）照明器具更新工事	＊省エネ対策	17,172,000 円
（図書館）図書館改修工事	＊図書館予算	32,802,408 円

5. 省エネルギー活動

設備の交換、運用の見直し、啓発活動により省エネルギー活動に取り組んだ。

A　設備交換　　空調機・照明器具

B　運用の見直し　廊下等共用施設の照明を間引き点灯

C　啓発活動　　消費電力の見える化（ウェブサイト上で公表）、節電シールで節電の協力要請
大学学友会エコロジー委員会の活動、校内放送による呼び掛け、広報ポスターの掲示
省エネパトロールの実施

以上の結果、2014 年度の電気使用量は、震災前である 2010 年度比 11%削減した。

6. 将来計画

A. 改組

○ 短期大学部の廃止

6 月 10 日に文部科学省へ昭和女子大学短期大学部の廃止を申請し、8 月 29 日に認可された。短期大学部はこれまで 63 年間にわたり、教育目標である世の光となる女性を育成して数多くの卒業生を輩出してきたが、社会の教育ニーズに対応してグローバルな人材や専門的職業人を育成するには研究・教育機能の強化が必要だと考え、大学にグローバルビジネス学部を設置したことに伴い短期大学部を発展的に解消し、高等教育機関の使命を昭和女子大学に一元化した。

○ 文学研究科英米文学専攻博士後期課程の廃止

2013 年度に文学研究科を統合して文学言語学専攻を開設。英米文学専攻博士後期課程を 3 月 31 日に廃止した。

B. 新設

○ 現代教育研究所の開所

大学の附属機関として、現代教育研究所を 11 月 1 日に開設した。

本研究所は、本学園の教育理念のもとに大学院各研究科並びに大学学部各学科、附属昭和高等学校・昭和中学校、昭和小学校、昭和幼稚園が連携し、今日的教育課題に関する研究・実践を促進し、併せて内外にわたる教育研究・実践の発展に寄与することを目的としている。

○ 昭和女子大学キャリアカレッジの開校

キャリアカレッジは、日本で初めての大学による「女性のためのビジネススクール」として平成 26 年 5 月 1 日に開校した。社会人として数年の実務経験を持つ方から、管理職・起業を目指す方、一旦離職された後に再度就業を目指す方まで幅広い年代や職業経験を持つ女性を対象としている。キャリアカレッジの前身は 2007 年に採択された文部科学省の「社会人の学び直しプロジェクト」支援事業の「元気にママチャレ！」。このプログラムは一旦離職した女性の再就業支援プログラムだ

った。キャリアカレッジはこのプログラムを発展・充実させ、より現実的なニーズに応えることができるように、継続就業中の女性、起業を目指す女性も対象としたプログラムとなった。

7. 優秀者の表彰と奨学金の贈呈

創立記念式典において下記の奨学生を表彰し、奨学金を贈呈した。

① 人見記念奨学生（大学院・大学・高等学校）：人物および成績が著しく優秀な者、全学園の模範となる実績を残した者
② 成績優秀奨学生（大学院・大学・高等学校）：人物および成績が著しく優秀な者
③ 水上奨励基金奨学生（大学 日本語日本文学科）：日本語・日本文学・書道・芸能など、広く日本文化と関わりのある領域において、優れた業績をあげた学生または団体
④ 熊澤育英基金奨学生（昭和女子大学短期大学部から昭和女子大学に編入学する学生）：短期大学部在学中の成績および人物が著しく優秀で編入学試験基準を満たし入学試験に合格した者
⑤ 砂原育英基金奨学生（附属中高部から昭和女子大学に入学する学生）：中高部在学中の成績および人物が著しく優秀な者
⑥ 稲穂奨励基金奨学生（学部に在籍している学生および団体）：芸術、スポーツなどにおいて優れた業績をあげた者又は団体
⑦ 認定留学奨学生：自由型認定留学（学生が自ら留学先を選び本学が承認する留学）が認められた者

2014 年度の奨学生数は次の通りである。

種別	部門	人数
人見記念奨学生	大学院	2 人
	大学	34 人
	高等学校	2 人
	合計	38 人
成績優秀奨学生	大学院	5 人
	大学	114 人
	高等学校	15 人
	合計	134 人
水上奨励基金奨学生	大学	2 人
熊澤育英基金奨学生	大学	1 人
砂原育英基金奨学生	大学	1 人
稲穂奨励基金奨学生	大学	3 人
認定留学奨学生	大学	9 人

8. 各種媒体による紹介

2014 年度に本学園関係者がマスコミで紹介された主な記事数は以下の通りである。

氏名	媒体
坂東眞理子 学長	テレビ 13・ラジオ 3・WEB14・新聞 54・雑誌 53・書籍 1
平尾光司 学事顧問	雑誌 1
川平朝清 名誉理事	テレビ 1
上山綾子 理事	雑誌 1
河村幹夫 監事	テレビ 1
小原奈津子 副学長	雑誌 1
日本語日本文学科 槍田良枝 教授	雑誌 1・イベント 1
日本語日本文学科 猪熊雄治 教授	新聞 1
日本語日本文学科 学生	新聞 1
英語コミュニケーション学科 学生	テレビ 2・WEB1・新聞 2・雑誌 1
歴史文化学科 菊池誠一 教授	雑誌 1
歴史文化学科 松田忍 専任講師	新聞 2
国際学科 森本真一 教授	書籍 1
国際学科 ボルジギン・フスレ 准教授	テレビ 1・WEB1
心理学科 山崎洋史 教授	テレビ 1
心理学科 今城周造 教授	テレビ 1
福祉社会学科 高橋学 教授	テレビ 1
福祉社会学科 月田みづえ 教授	新聞 1
福祉社会学科 森ますみ 教授	雑誌 1
福祉社会学科 伊藤純 准教授	新聞 1
福祉社会学科 荻野太司 専任講師	新聞 1
福祉社会学科 高橋久雄 非常勤講師	雑誌 1
福祉社会学科 天野寛子 卒業生・元教授	新聞 4
福祉社会研究専攻 学生	テレビ 1
現代教養学科 志摩園子 教授	新聞 1
現代教養学科 瀬沼頼子 教授	新聞 2
現代教養学科 大串夏身 特任教授	新聞 3・イベント 7
現代教養学科 シム・チュン・キャット准教授	テレビ 1・雑誌 1
現代教養学科 小粥祐子 助教	テレビ 1
現代教養学科 学生	テレビ 1・新聞 3
初等教育学科 押谷由夫 教授	新聞 1
初等教育学科 学生	雑誌 1
環境デザイン学科 芦川智 教授	新聞 1
環境デザイン学科 杉浦久子 教授	雑誌 2

環境デザイン学科 志村雄逸 特任教授	WEB1
環境デザイン学科 田村圭介 准教授	イベント 1
環境デザイン学科 橘 倫央 専任講師	雑誌 1
環境デザイン学科 学生	WEB1・新聞 1
管理栄養学科 学生	テレビ 1
グローバルビジネス学部 久原正治 学部長	書籍 1
ビジネスデザイン学科 八代尚宏 特命教授	テレビ 6・WEB6・新聞 34・雑誌 2
ビジネスデザイン学科 福沢恵子　特命教授	新聞 2・雑誌 1
ビジネスデザイン学科 藥袋貴久 准教授	テレビ 1・新聞 2・雑誌 1
ビジネスデザイン学科 学生	テレビ 1・新聞 2・雑誌 1
総合教育センター 友野清文 教授	テレビ 1・雑誌 1
大学 全体	テレビ 1・WEB3・新聞 2
輝け☆健康「美」プロジェクト	テレビ 1・WEB9・新聞 2・
近代文化研究所 佐藤美恵子 主任	雑誌 6・書籍 1
女性文化研究所　池上和子 研究員	書籍 1
国際文化研究所 平井聖 特任教授	テレビ 1
現代ビジネス研究所 治部れんげ 研究員	テレビ 1・WEB43・新聞 1・雑誌 7・イベント 9
現代ビジネス研究所 臼田明子 研究員	WEB4・新聞 1
現代ビジネス研究所 齋藤訓有紀 研究員	書籍 1
現代ビジネス研究所 プロジェクト学生	WEB1・新聞 1・雑誌 2
現代ビジネス研究所	雑誌 1
保坂邦夫 広報部長	雑誌 1
学長補佐担当 川崎由香里 学長秘書	雑誌 1
磯野彰彦 キャリア支援センター長	新聞 3・雑誌 1
キャリア支援センター 梅田昌照 相談員	新聞 1
地域連携センター 学生	新聞 2
研究支援機器センター 伊藤美香　助教	テレビ 1
コミュニティーサービスラーニングセンター	雑誌 1
光葉キャリア塾 学生	テレビ 1・新聞 1
グローバルネットワーク 学生	WEB1・新聞 1
中高部 大泉章子 校長	新聞 1
中高部 會川惠志 副校長	新聞 1
昭和女子大学附属昭和高等学校	新聞 1
初等部 白數哲久 教諭	書籍 1
幼稚部 園児	雑誌 1
東明学林	テレビ 1

Ⅱ　大学院・大学

1.　キャンパスのグローバル化

文部科学省「2012 年度グローバル人材育成推進事業（支援期間：5 年間）」の採択を受け構成した学長を委員長とする「グローバル人材育成プロジェクト委員会」では 2014 年度は以下の事業を行った。

A.　国内プログラムの開発

6 月 23 日～7 月 12 日の間、9 か国 18 人の外国人学生を迎え SWU Summer Internationl Program（SSIP）を実施した。

プログラムは①日本の文化・社会・歴史等を講義や視察・活動を通じて学ぶ Japan Studies（JS）、②日本の女性の役割をテーマに、グループディスカッションとプレゼンテーションを行う Cross Cultural Workshop（CCW）の 2 部で構成され、日本人学生も単位履修の学生が 20 人、聴講およびボランティア学生として延べ 69 人の参加があった。

＜スケジュール＞

日程	午前の活動	午後の活動
6 月 23 日	開会・ガイダンス・学内案内	渋谷原宿散策・歓迎会
6 月 24 日	［JS］日本の書道	［JS］日本伝統文化体験～茶道 ［CCW］Gender Roles in Japan①
6 月 25 日	［JS］日本のデザインに関連した活動～風呂敷	［JS］日本の宗教 ［CCW］Gender Roles in Japan②
6 月 26 日	自由行動	［JS］東京の歴史・日本の女性
6 月 27 日	［JS］江戸東京博物館	［JS］浅草観光
6 月 28 日	［CCW］Gender Roles in Japan③	ホームステイ
6 月 29 日	ホームステイ	
6 月 30 日	自由行動	
7 月 1 日	［JS］日本のポップカルチャー　日本の美術	［JS］日本のファッション
7 月 2 日	自由行動	［JS］女性へのインタビュー ［CCW］Gender Roles in Japan④
7 月 3 日	［JS］日本の食文化・日本料理	［JS］日本の教育
7 月 4 日	［JS］一日旅行：鎌倉・横浜	鎌倉から東明学林へ
7 月 5 日	［CCW］Gender Roles in Japan⑤	［CCW］Gender Roles in Japan⑥⑦
7 月 6 日	箱根観光・ファッションショー見学 於：世田谷美術館	
7 月 7 日	自由行動	
7 月 8 日	［JS］歌舞伎鑑賞	［JS］皇居周辺ツアー・歌舞伎鑑賞教室
7 月 9 日	［JS］ジブリミュージアム	［CCW］Gender Roles in Japan⑧
7 月 10 日	初等部見学	［JS］日本の経営
7 月 11 日	［JS］世田谷美術館	［JS］企業訪問（資生堂）
7 月 12 日	［CCW］Final Presentation	閉会・送別会

B. Intensive Japanese Program の実施

10 月から 2 月まで協定大学を中心に 8 か国 13 人の学生を迎え 1 学期間プログラム「Intensive Japanese Language Program」を実施した。「日本語でコミュニケーション」「コンテンツで学ぶ日本語」「Internship Preparation」の日本語科目のほか、本学の授業科目から 1 ～2 科目を履修した。

授業以外では、本学サークル活動（書道・箏曲・着付・華道等）に参加するとともに、高尾山紅葉狩り、酉の市、歌舞伎鑑賞など、日本文化に触れた。また、プログラム終了後に行われた日本企業インターンシップに 2 人が参加した。

C. Global Network

学生が主体となるメンバー登録型の団体「Global Network」を組織した。

学内で行われる国際交流イベントや、英語を中心とした語学力を活かすサポートやボランティア情報を登録学生に配信した。2014 年度末で 395 人の登録があった。

D. 国際交流センターによる留学支援

国際交流センター内に、英語学習アドバイザー・英文ライティングアドバイザー・留学アドバイザーを配置し、留学や英語力強化に関する個人およびグループカウンセリングを行ったほか、留学の動機づけを促す各種パンフレットの作成およびホームページの改修などを通じて学生への留学支援を行った。

E. 海外協定校の開拓

マサチューセッツ州立大学（米国）、ニューベリー大学（米国）、アルカラ大学（スペイン）と新たに協定を締結した。

F. 上海交通大学とのダブルディグリープログラムの開発

上海交通大学国際教育学院と本学国際学科でダブルディグリープログラムを開発し、2013 年度から実施した。このプログラムでは学生は 5 年間在籍するが、2 年次後期から 2 年間上海交通大学に留学して両大学の卒業に必要な単位を修得することで両大学の学位を取得できる。

前年度プログラムに登録した 11 名全員が HSK4 級に合格し、9 月から 2 年間の上海留学を開始した。

また、2014 年度入学の国際学科中国専攻学生を対象に募集し、13 人の参加登録があった。

G. 遠隔授業システムの設置

遠隔授業システムを設置して海外大学との遠隔授業を実施した。また、海外の協定校を中心にパートナーの開拓を行った。

実施日	内容
5 月 22 日	ビジネスデザイン学科－昭和ボストン　望秀海浜学寮
5 月 29 日 6 月 4・19 日	昭和ボストン遠隔講演
6 月～9 月	台湾国立政治大学　国際学科授業「中国社会研究Ａ」
8 月 5 日	モンゴル国立教育大学　第３回日本・モンゴル青年フォーラム国際会議
10 月 10 日	クイーンズランド大学　英語コミュニケーション学科授業「児童英語教育」
11 月～12 月	上海交通大学　国際学科授業「中国社会研究、中国現代史」
11 月 12・26 日	淑明女子大学　国際学科授業「韓国語上級コア b」
11 月 22 日	モンゴル日本人材開発センター 国際シンポジウム「国際的視野のなかのハルハ河・ノモンハン戦争」
1 月 16 日	上海交通大学　日本語日本文学科授業「近代文学Ⅱ（現代小説）」

H.　講演会の実施（学生対象）

以下の講演会を実施した。

実施日	内容	参加数
6 月 4 日	「女性は世界を変える」於：人見記念講堂	約 2,000 人
6 月 11 日 7 月 16 日	「会社で働くとは：人事担当からみた英語の必要性」	57 人
11 月 22 日	就活支援懇談会（日本人学生対象）	24 人
11 月 22 日	就活支援懇談会：パネルディスカッション「企業が外国人留学生に求めるもの」（外国人留学生対象）	13 人
12 月 3 日	日本人学生の留学経験を活かした就職支援講座	32 人

I.　講演会・セミナー等の実施（教職員対象）

以下の講演会を実施した。

実施日	内容	参加数
7 月 2 日	留学生危機管理セミナー①	32 人
12 月 2 日	留学生危機管理セミナー②	30 人

J.　英語力向上のための取組

全学科新入生を対象に英語のプレイスメントテストを行い、その結果に基づき人間文化学部の各学科で英語のレベル別クラスを導入した。

また、英語力向上を目的に、各種 TOEIC セミナーおよび TOEIC IP テストを開催したほか、グローバルラウンジを中心にミニセミナー、ワークショップなどのアクティビティを積極的に開催した。

○　TOEIC 関連

実施日	内容	参加数
4・1・2・3 月	GTEC 英語レベル測定および外国語英語プレイスメントテスト	1,873 人
5 月 10 日～3 月 24 日	TOEIC IP テスト（5 回）	延べ 2,568 人
4 月 16 日・26 日	初めて受ける TOEIC 対策セミナー	延べ 533 人
5 月 17 日～12 月 13 日	TOEIC パート別セミナー： 目標 500 点・目標 700 点クラス（12 回）	延べ 217 人
8・2 月	TOEIC 集中セミナー（3 回）	延べ 122 人

○ TOEFL 関連

実施日	内容	参加数
8 月 4 日～2 月 21 日	TOEFL GUIDE セミナー	11 人

○ アクティビティ関連

実施日	内容	参加数
5 月 14 日～12 月 3 日	ランチタイム・ミニセミナー	100 人
5 月 12 日～7 月 11 日 10 月 27 日～11 月 28 日	英語アクティビティ「What's up, World！」	148 人

K. 留学生支援

外国人留学生（正規学生・交換留学生・科目等履修生等）が本学で学習するうえで必要な事項をまとめた留学生ハンドブックを作成し、2014 年度入学者より使用を開始した。また、外部の日本語学校と提携し、留学生の日本語チューター制度を実施した（希望制：延べ 17 人参加）

L. 新任者ガイドブックの作成

教育研究や学生指導のための基本情報のほか、本学で勤務するうえで必要な規定等を中心に、日本語版・英語版の新任者ガイドブックを作成した。これをもとに、2014 年度入職の新任教員への研修を行った。

M. 多言語による国際交流関連情報の発信

英語サイトを中心に中国・韓国語の WEB サイトの内容を充実させ多言語での情報発信を強化した。

英語サイト　：　http://en.swu.ac.jp/
中国語（簡体字）サイト　：　http://ch.swu.ac.jp/
中国語（繁体字）サイト　：　http://tw.swu.ac.jp/
韓国語サイト　：　http://kor.swu.ac.jp/

2. 教育

A. 就業力向上支援

① キャリアデザイン・ポリシー

キャリアデザイン・ポリシーに基づき、学科のカリキュラムを体系化して履修モデルを作成した。モデルはホームページで公開して学生や受験生に提示した。この履修モデルを活用して学生を指導して就業力の向上に努めた。

② キャリアコア科目

全学共通のキャリアコア科目の体系化に基づき、全学的なキャリア教育を推進した。

③ 社会人メンター制度

公募や推薦により約 300 人の社会人メンターを登録。金融・商社・教育・デザイン・NPO 団体など幅広い職業と、海外生活や子育て経験など多様な経験を持つ社会人メンターが、個別メンタリング、メンターカフェ、メンターフェアのプログラムを通して、学生の進路設計やキャリアプランの相談を行った。

○ 2014 年度社会人メンター制度活動実績

内容	開催回数	参加学生数
個別メンタリング	申込件数 606 件	実施件数　564 件
メンターカフェ	8 回	326 人
メンターフェア	15 回	1,138 人
合計参加学生数		2,028 人

※個別メンタリングは実施件数で計算

④ キャリア教育プログラム

首都圏 17 大学 1 短大が共同申請した文科省「平成 24 年度産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業テーマ A」に採択された。今年度で最終年度である。

取 組 名：首都圏に立地する大学における産業界のニーズに対応した教育改善
共同大学：青山学院（幹事校）大妻女子・お茶の水女子・工学院・駒澤・芝浦工業・昭和女子・女子美術・専修・拓殖・東京家政・東京電機・東京都市・東京未来・法政・明治学院・目白・東京家政短大

本学の取組は、新設する現代ビジネス研究所にラーニング・コモンズを設置し、学生のプロジェクト研究を進めながら産業界と連携して人材育成プログラムを開発するもので、今年度はプロジェクト活動を中心とした人材育成プログラムの開発を進めた。

また、法政大学をオーガナイザーとする本学・女子美術・東京家政・明治学院・目白・東京家政大短大の研究チームで「産業界との連携による人材開発プログラムの開発」に取り組み、昨年度に引き続き、催事販売型インターンシッププログラムを共同実施した。

○ 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業関連プロジェクト活動

プロジェクト名	コラボレーション先＜担当者＞
「三茶さんちゃを楽しもう！」プロジェクト	連携 18 大学世田谷区商業政策課、世田谷区消費政策課、茶澤通商店街、まちづくり公社、協力団体：世田谷区消費生活連合会・世田谷区清掃・リサイクル課 ＜瀬沼頼子＞
配財プロジェクト with　SWU	一般社団法人配剤プロジェクト・地域（墨田区、世田谷区、渋谷区）の廃材発掘→配剤への展開を図る ＜金子友美＞

催事販売型インターンシップ （法政大学を中心とする 7 大学の活動）	十条商店街とのコラボ：昭和の学生 8 名参加 ＜昭和デザインオフィス＞
渋谷桜丘町づくり－Beyond 246－	渋谷駅前共栄会・桜丘町会 ＜友田博通＞
「はこねのもり女子大学」による箱根地域の新たな魅力・「はこじょ」創造プロジェクト	はこねのもり女子大学 ＜藥袋貴久＞
産業界のニーズに対応した教育改善事業：産業連携ビジネスコンテスト参加	法政大学主催（7 大学） ＜昭和デザインオフィス＞

○ 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業関連セミナー等

開催日	テーマ	発表者
5 月 31 日	公開講座「高齢社会のビジネスの可能性」	八代　尚宏特命教授
6 月 21 日	研究セミナー「コミュニケーションの極意」	日本テレビアナウンス部 上田まりえ氏
10 月 18 日	研究セミナー「女の子の力で世界を変えられるか」	電通 CDC　外崎郁美氏
2 月 28 日	プロジェクト研究発表会	

⑤ インターンシッププログラム

首都圏 15 大学 1 短大が共同申請した文科省「平成 26 年度産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業テーマ B」に採択された。

取 組 名：	首都圏におけるインターンシップ等の拡充・高度化
共同大学：	青山学院（幹事校）大妻女子・工学院・駒澤・芝浦工業・昭和女子・専修・拓殖・東京家政・東京電機・東京都市・東京未来・法政・明治学院・目白・東京家政短大

首都圏にメインキャンパスを置く 16 大学におけるインターンシップの拡大を図る取組で、①中堅中小企業を対象としたインターンシップ等、および②職業意識の涵養を目指したインターンシップ等（低学年向けインターンシップ）の開発・実施を目指す。

3 年生対象の就職活動の一助となるインターンシップに加え、新しいインターンシップを開発・実施することで、学生の社会的・職業的自立を図る多重・多層な教育プログラムを提供するもので、本学学生に対する新たなインターンシップ先提供につながっている。

⑥ オナーズクラス（リーダーズアカデミー）の実施

リーダーズアカデミーは、学長が主催する本学学生のリーダー養成講座である。21 世紀を生きる女性に必要な見識・リーダーシップを養うことを目的に、歴史、経営、政治・経済、社会、環境、起業など具体的なテーマについて、各界で活躍する著名人による講義を聴講し、時間外を活用してグループ毎に適宜討議を行い、翌週に討議結果を発表するというプログラムとなっている。また、講師との交渉から当日の運営まで学生自身が担当し、学科の壁を越えたグループワークが主体となっている。本プログラムは学科推薦者と公募によって受講者を決定しており、今年度は各学科の 2・3 年生を中心に 24 名の学生が参加し、講義とは別に「女性は世界を変える」というテーマで 4 チームに分かれてプロジェクト活動にも取り組んだ。

○ 今年度の講師とテーマ

講師		テーマ
蟹瀬令子氏	レナ・ジャポン・インスティチュート株式会社代表取締役	自分ブランドの作り方
秋山訓子氏	ジャーナリスト（朝日新聞記者）	コミュニケーション・ストラテジー

漆紫穂子氏	品川女子学院 校長	女性の可能性を開く
藤沢久美氏	シンクタンク・ソフィアバンク　副代表	社会を変える
斎木陽平氏	株式会社 WE Station 代表取締役社長 「AO 義塾」塾長	女子高生未来会議の経験から
平井由紀子氏	株式会社セルフウイング代表取締役社長	困難が人を育てる
大久保秀夫氏	株式会社　フォーバル　代表取締役会長	結婚、起業-決断の責任をとる-

B.　FD 活動

①　授業改善アンケート・FD アンケート

大学：アンケートの実施

授業の改善を目的として、受講者数 10 名以上の全授業科目を対象にアンケートを実施した。（前期 7 月・後期 2 月）

改善報告書の作成と公開

授業単位：全常勤教員（非常勤任意）の改善報告書を学内ウェブサイトに掲載した。（教員名除く）

学科単位：各学科の教務部委員が報告書を作成し大学ホームページに掲載した。

大学院：アンケートの実施

カリキュラムから研究環境までを評価するアンケートを、専攻ごとに実施した（前期 7 月・後期 2 月）。

改善報告書の作成と公開

結果を各研究科教授会で報告し、改善報告書を作成して学内ウェブサイトに掲載した。

②　FD 講演会

総合的な教育力の向上をめざして FD 講演会を開催した。

第 1 回 9 月 30 日 9:50～11:00 参加者数：166 人	テーマ：昭和ボストンがめざす教育プログラムの新たな戦略：世田谷本校教員との対話を通して 講　師：フランク・シュワルツ昭和ボストン学長
第 2 回 12 月 10 日 15:00～16:15 参加者数：72 人	テーマ：The Actual Situation of Lessons in English by Non-native Teachers: A Vietnamese Perspective 講　師：Pham Quang Minh ハノイ国家大学副学長

③　FD サロン

より円滑な授業運営のために、教員間で気軽に意見交換しながら課題への対応を考える場として FD サロンを開催した。

開催日	主なテーマ
7 月 9 日 15:00～16:00	アクティブ・ラーニングの実践にむけて 実践例紹介：須永哲矢 専任講師・杉橋朝子 専任講師・保田隆明 准教授 参加者数：43 人

④　新任教員研修

翌年度 4 月 1 日以降採用の常勤・準常勤教員を対象に「本学の建学の精神・理念を踏まえ、本学ならではの教育の特色および制度についての理解を深める」ことを目的に新任教員研修を実施した。

開催日	主なテーマ
3 月 22 日 12:50～16:00	①教学全体にかかわる取り組み・研究費について ②学生の進路・キャリア支援体制について ③本学の入試・学生募集等について ④学生支援・クラス運営について ⑤本学の FD 活動について 説明者：教務部長、キャリア支援部長、アドミッション部長、学生部長、ＦＤ推進委員会委員長 参加者数：新任教員 15 人

⑤　夏季教員セミナー

グローバル人材育成推進事業に係わる FD 活動として、英語による授業実施に向けた能力向上を目的として、夏季教員セミナーを実施した。英語で授業するために必要な知識とスキルを学ぶ Introductory コース、英語の授業運営の効果を上げる Advanced コースの 2 コースを開講した。

コース	実施日	講師	参加人数
Introductory コース	8 月 4 日～5 日	日米会話学院　吉野講師	教員 8 人
Advanced コース	8 月 6 日～7 日	日米会話学院　Allan 講師	教員 10 人

⑥　昭和ボストンとの共同 FD

グローバル人材育成推進事業に係わる FD 活動の取組として、昭和ボストンと昭和東京の授業運営に関する両校教員の相互理解を深めることを目的として、共同 FD を実施した。

実施日	参加者	実施内容
9 月 2 日～9 日	教員 5 人	9 月 2 日　昭和ボストン校スタッフとミーティング 9 月 3 日　サマーセッション参加学生の授業視察 9 月 4 日　昭和 Tokyo-Boston Joint Faculty Workshop 東京教員 3 人、ボストン教員 4 人のプレゼンテーション 9 月 6 日・7 日　New York City Field Trip　に同行

⑦　授業に関するアンケート

常勤教員全員にアンケートを実施した。

目的：アクティブ・ラーニングの手法や成功事例、アクティブ・ラーニング以外で教員が授業を実施する際に工夫している点、効果が高い授業の手法についての情報を収集する。

活用：特に参考になると思われる事例 10 数例を「授業における工夫事例集」としてとりまとめ、常勤教員全員にメール配信した。

今後：収集した授業に関する工夫点をさらに分析し、新しい FD 活動の課題を見出し、今後のより良い方向を具体化する。

C.　自己点検・評価活動

本学では、全評価項目のうち毎年の重点項目について全学的な評価を実施している。

2014 年度は、「管理・運営」「内部質保証」に関する自己点検・評価を大学事務局、人事部を担当として実施した。

○　参考：自己点検・評価活動

第 1 回　自己点検・評価実施委員会 6 月 27 日（木）	2013 年度自己点検・評価結果の承認
第 2 回　自己点検・評価実施委員会 10 月 23 日（木）	2014 年度自己点検・評価実施計画の承認 2015 年度自己点検・評価実施方針の承認

3. 学生支援

A. 進路・就職支援

就職活動支援講座

2014 年度に実施した就職活動支援講座は以下の通りである。

○ インターンシップ関連（4 日程）

日付	内容	参加人数
4 月 12 日	説明会	661 人
4 月 19 日	セミナー	590 人
7 月 12 日	マナー講座	370 人
11 月 29 日	インターンシップ報告会	206 人

○ 就職ガイダンス関連（14 日程）

日付	内容	参加人数
5 月 14 日	第 1 回就職ガイダンス	1,002 人
5 月 23 日	キャリア支援センター・ツアー(1)	18 人
5 月 27 日	キャリア支援センター・ツアー(2)	4 人
6 月 10 日	キャリア支援センター・ツアー(3)	4 人
6 月 16 日	キャリア支援センター・ツアー(4)	14 人
6 月 26 日	キャリア支援センター・ツアー(5)	13 人
10 月 8 日	第 2 回就職ガイダンス	752 人
10 月 21 日	キャリア支援センター・ツアー(6)	10 人
10 月 31 日	キャリア支援センター・ツアー(7)	8 人
11 月 13 日	キャリア支援センター・ツアー(8)	12 人
11 月 25 日	キャリア支援センター・ツアー(9)	11 人
12 月 8 日	キャリア支援センター・ツアー(10)	23 人
1 月 15 日	キャリア支援センター・ツアー(11)	12 人
2 月 13 日	第 3 回就職ガイダンス	737 人

○　業界研究講座・セミナー（34 日程）

日付	内容	参加人数
6 月 5 日	経済記事の読み方&経済用語の基礎知識	204 人
6 月 9 日	経済記事の読み方&経済用語の基礎知識	
6 月 17 日	「四季報」の見方　－「四季報」による企業研究－	169 人
6 月 27 日	「四季報」の見方　－「四季報」による企業研究－	
6 月 30 日	中堅・中小企業の探し方	196 人
7 月 10 日	中堅・中小企業の探し方	
10 月 24 日	マスコミ（新聞）	24 人
10 月 31 日	アパレル	28 人
11 月 5 日	エアライン	64 人
11 月 12 日	住宅	45 人
11 月 14 日	食品	131 人
11 月 19 日	素材	20 人
11 月 20 日	化粧品	46 人
11 月 21 日	印刷	46 人
12 月 10 日	外資系エアライン	22 人
12 月 12 日	建設	48 人
12 月 15 日	出版	87 人
12 月 17 日	リフォーム	55 人
1 月 9 日	病院	66 人
1 月 13 日	生命保険	30 人
1 月 15 日	不動産	20 人
1 月 19 日	テレビ	43 人
1 月 20 日	物流	39 人
1 月 22 日	ゲーム	50 人
1 月 26 日	ブライダル	32 人
1 月 27 日	信用金庫	47 人
1 月 29 日	人材	17 人
1 月 30 日	半導体製造装置	22 人
2 月 2 日	介護	10 人
2 月 5 日	ショッピングセンター	10 人
2 月 6 日	情報サービス	10 人
2 月 9 日	ホテル	21 人
2 月 10 日	アパレル	7 人
2 月 23 日	証券	5 人

○　内定者報告会（1 日程）

日付	内容	参加人数
11 月 13 日	内定者報告会	130 人

○　学内合同企業説明会（18 日程）

日付	内容	参加人数
5 月 13 日	4 年生向け	97 人
5 月 30 日	4 年生向け	50 人
6 月 23 日	4 年生向け	51 人
8 月 4 日	4 年生向け	43 人
9 月 25 日	4 年生向け	27 人
10 月 31 日	4 年生向け	29 人
11 月 20 日	4 年生向け	24 人
12 月 18 日	4 年生向け	17 人
1 月 23 日	4 年生向け	19 人
2 月 24 日	4 年生向け	15 人
3 月 3 日	3 年生向け	573 人
3 月 4 日	3 年生向け	550 人
3 月 5 日	3 年生向け	485 人
3 月 6 日	3 年生向け	558 人
3 月 10 日	3 年生向け	404 人
3 月 11 日	3 年生向け	500 人
3 月 12 日	3 年生向け	460 人
3 月 13 日	3 年生向け	379 人

○　就職活動基本講座（36 日程）

日付	内容	参加人数
5 月 23 日	就職活動準備講座/自己理解力 UP 講座	618 人
5 月 28 日	就職活動準備講座/自己理解力 UP 講座	
5 月 29 日	就職活動準備講座/自己発信力 UP 講座	523 人
6 月 2 日	就職活動準備講座/自己発信力 UP 講座	
6 月 6 日	就職活動準備講座/社会への関心度 UP 講座①	508 人
6 月 10 日	就職活動準備講座/社会への関心度 UP 講座①	
6 月 12 日	就職活動準備講座/社会への関心度 UP 講座②	440 人
6 月 16 日	就職活動準備講座/社会への関心度 UP 講座②	
6 月 20 日	就職活動準備講座/これからの私、期待度 UP 講座	402 人
6 月 24 日	就職活動準備講座/これからの私、期待度 UP 講座	
10 月 10 日	履歴書・エントリーシート対策①	341 人
10 月 14 日	履歴書・エントリーシート対策①	
10 月 20 日	履歴書・エントリーシート対策②	373 人
10 月 28 日	履歴書・エントリーシート対策②	
10 月 30 日	履歴書・エントリーシート対策③	309 人

11 月 4 日	履歴書・エントリーシート対策③	
11 月 6 日	リクルートビジュアル（メイク、身だしなみ）	252 人
11 月 11 日	リクルートビジュアル（メイク、身だしなみ）	
11 月 25 日	就職活動に必要なマナー	271 人
12 月 1 日	就職活動に必要なマナー	
11 月 28 日	面接対策①　面接概要の理解	364 人
12 月 2 日	面接対策①　面接概要の理解	
12 月 5 日	面接対策②　実践！集団面接	253 人
12 月 9 日	面接対策②　実践！集団面接	
12 月 6 日	面接対策③　実践！個人面接	159 人
12 月 13 日	面接対策③　実践！個人面接	
12 月 6 日	実践！グループディスカッション	166 人
12 月 13 日	実践！グループディスカッション	
2 月 25 日	再点検！面接	123 人
2 月 26 日	再点検！グループディスカッション	108 人
2 月 27 日	再点検！履歴書・エントリーシート	184 人
2 月 16 日	採用担当者による模擬面接会	32 人
2 月 17 日	採用担当者による模擬面接会	35 人
2 月 18 日	採用担当者による模擬面接会	36 人
2 月 19 日	採用担当者による模擬面接会	36 人
2 月 20 日	採用担当者による模擬面接会	37 人

○　**公務員・資格取得・模擬試験**（10 日程）

日付	内容	参加人数
4 月 4 日	SPI・一般常識　模擬試験	2,006 人
4 月 21 日	資格取得セミナー/旅行業務取扱管理者	45 人
4 月 25 日	公務員試験対策セミナー	120 人
5 月 10 日	教員採用模擬試験（小・中・高）	30 人
5 月 10 日	保育士・幼稚園就職模擬試験	24 人
5 月 16 日	資格取得セミナー/旅行業務取扱管理者	29 人
10 月 27 日	公務員セミナー	71 人
11 月 5 日	東京国税局国税専門官説明会	4 人
12 月 3 日	公務員セミナー	52 人
12 月 11 日	筆記試験対策　SPI・一般常識模擬試験（有料）	23 人

○　教員採用説明会（15 日程）

日付	内容	参加人数
4 月 15 日	埼玉県	12 人
4 月 17 日	さいたま市	4 人
4 月 18 日	千葉県	2 人
4 月 21 日	東京都	18 人
4 月 28 日	川崎市	5 人
5 月 8 日	横浜市	4 人
5 月 9 日	神奈川県	8 人
11 月 11 日	東京都	30 人
11 月 11 日	川崎市	4 人
11 月 13 日	千葉県	7 人
11 月 13 日	相模原市	3 人
11 月 17 日	埼玉県	9 人
11 月 17 日	さいたま市	5 人
12 月 1 日	神奈川県	5 人
12 月 1 日	横浜市	4 人

○　基礎学力向上・SPI 対策（14 日程）

日付	内容	参加人数
6 月 13 日	SPI 対策/基礎力養成講座(1)	86 人
6 月 19 日	SPI 対策/基礎力養成講座(2)	55 人
6 月 23 日	SPI 対策/基礎力養成講座(3)	55 人
7 月 1 日	SPI 対策/基礎力養成講座(4)	46 人
7 月 7 日	SPI 対策/基礎力養成講座(5)	25 人
8 月 4 日	SPI 対策/短期集中講座(1)	142 人
8 月 5 日	SPI 対策/短期集中講座(2)	120 人
8 月 6 日	SPI 対策/短期集中講座(3)	107 人
8 月 7 日	SPI 対策/短期集中講座(4)	85 人
11 月 17 日	筆記試験対策　SPI 対策/テストセンター・WEB テスト対策	137 人
12 月 18 日	筆記試験対策　SPI 対策/テストセンター・WEB テスト対策	
2 月 17 日	筆記試験対策　SPI 対策/総復習(1)	241 人
2 月 18 日	筆記試験対策　SPI 対策/総復習(2)	190 人
2 月 19 日	筆記試験対策　SPI 対策/総復習(3)	196 人

○　グローバル人材育成支援事業関連（4 日程）

日付	内容	参加人数
11 月 22 日	日本人留学経験者対象就活支援懇談会	24 人
11 月 22 日	外国人留学生対象就活支援懇談会	13 人
12 月 3 日	日本人留学生の留学経験を活かした就職支援講座	32 人
12 月 3 日	外国人留学生のための日本での就活支援講座	5 人

○　東京新卒応援ハローワーク共催講座（1 日程）

日付	内容	参加人数
10 月 24 日	ハローワークの活用方法	5 人

○　その他（15 日程）

日付	内容	参加人数
4 月 16 日	仕事を知るシリーズ(1)	79 人
4 月 24 日	仕事を知るシリーズ(2)	59 人
5 月 20 日	仕事を知るシリーズ(3)	98 人
6 月 11 日	仕事を知るシリーズ(4)	14 人
6 月 18 日	仕事を知るシリーズ(5)	29 人
7 月 3 日	仕事を知るシリーズ(6)	52 人
5 月 13 日	オンワード樫山・本学 OG との座談会	10 人

7 月 16 日	適職診断テスト（CPS-J）	63 人
10 月 1 日	職業適性検査（CPS-J）の結果の見方	56 人
10 月 30 日	仕事を知るシリーズ(7)	80 人
11 月 26 日	仕事を知るシリーズ(8)	19 人
12 月 3 日	仕事を知るシリーズ(9)	15 人
12 月 12 日	入社準備講座	14 人
1 月 14 日	職業適性検査（CPS-J）	150 人
2 月 16 日	職業適性検査（CPS-J）の結果の見方	112 人

B. **インターンシップ**

2014 年度は 250 の企業・団体で 510 人の学生がインターンシップを体験した。
主な企業・事業所名は以下の通りである。

区分	企業名	事業所数	派遣人数
公的機関・団体	環境省、文部科学省、世田谷区役所、JETRO（日本貿易振興機構）、国連人口基金東京事務所、国会議員事務所　ほか	40	88 人
マスコミ・出版関係	RKB 毎日放送報道局、毎日新聞、読売新聞、三省堂 旺文社　ほか	27	38 人
ホテル・航空・運輸	富士屋ホテル、ホテルニューオータニ、金谷ホテル、京王プラザホテル、フェデラルエクスプレス、アサヒトラベルインターナショナル　ほか	21	44 人
建設・住宅・ビル管理	戸田建設、大成建設、清水建設、ナジック、アイ・サポート、三菱電機ビルテクノサービス　ほか	23	53 人
情報・電機・電子機器	トランス・コスモス、富士ゼロックス、イトーキ、内田洋行、インフォメーション・ディベロプメント　ほか	16	46 人
金融・流通・サービス	りそな銀行、いちよし証券、SMBC 日興証券、日本生命、レナウン、オンワード樫山、信金中央金庫、神奈川トヨタ自動車、ニッコクトラスト、プランタン銀座、パソナほか	58	105 人
医療・スポーツ・美容	P&G、マックスファクター、関東中央病院、埼玉医科大学総合医療センター　ほか	18	29 人
その他（海外インターンシップを含む）		47	107 人
合計		250	510 人

C.　卒業者数と就職状況

2014 年度（2015 年 3 月）卒業生の進路は次の通りである。（2015 年 4 月 20 日現在）

研究科	専攻	卒業者	進学者	就職希望者	就職者	希望者就職率(%)	その他進学	その他	進学者を除いた就職率(%)
文学	日本文学博士前期	1	0	1	1	100.0	0	0	100.0
	英米文学博士後期	1	0	1	1	100.0	0	0	100.0
	言語教育博士後期	1	0	1	1	100.0	0	0	100.0
	計	3	0	3	3	100.0	0	0	100.0
生活機構	生活文化	6	0	6	5	83.3	0	1	83.3
	心理	9	1	7	6	85.7	0	2	75.0
	福祉社会	5	1	3	2	66.7	0	2	50.0
	人間教育	4	0	3	3	100.0	0	1	75.0
	環境デザイン	7	0	7	6	85.7	0	1	85.7
	生活科学	1	0	1	1	100.0	0	0	100.0
	生活機構学	4	0	3	3	100.0	1	0	75.0
	計	36	2	30	26	86.7	1	7	76.5
大学院計		39	2	33	29	87.6	1	7	78.4

※本表には満期退学者を含む

学部	学科	卒業者	大学院進学者	就職希望者	就職者	希望者就職率(%)	その他進学	その他	進学者を除いた就職率(%)
人間文化	日本語日本文	143	5	125	118	94.4	1	19	85.5
	英語コミュ	181	5	169	167	98.8	1	8	94.9
	歴史文化	97	3	91	89	97.8	0	5	94.7
	国際	85	1	78	76	97.4	2	6	90.5
	計	506	14	463	450	97.2	4	38	91.5
人間社会	心理	86	8	72	69	95.8	3	6	88.5
	福祉社会	76	1	70	70	100.0	2	3	93.3
	現代教養	100	1	97	95	97.9	0	4	96.0
	初等教育	106	0	105	103	98.1	1	2	97.2
	計	368	10	344	337	98.0	6	15	94.1
生活科学	環境デザイン	186	7	175	168	96.0	2	9	93.9
	管理栄養	78	0	74	74	100.0	0	4	94.9
	健康デザイン	82	0	80	80	100.0	2	0	97.6
	計	346	7	329	322	97.9	4	13	95.0
大学計		1,220	31	1,136	1,109	97.6	14	66	93.3

※本表には 2014 年 9 月修了者・卒業者を含む

D.　学位授与者

○　博士前期課程・修士課程／博士後期課程

研究科	専攻	授与者数
文学研究科	日本文学専攻　博士前期課程	1 人
	英米文学専攻　博士前期課程	-
	言語教育コミュニケーション専攻　博士前期課程	-
	英米文学専攻　博士後期課程	-
	言語教育コミュニケーション専攻　博士後期課程	-
	計	1 人
生活機構研究科	生活文化研究専攻	6 人
	生活科学研究専攻	1 人
	心理学専攻	9 人
	福祉社会研究専攻	5 人
	環境デザイン研究専攻	7 人
	人間教育学専攻	3 人
	生活機構学専攻　博士後期課程	2 人
	計	33 人
大学院計		34 人

※満期退学後 3 年以内に課程博士を授与された者は含まず

○　学部

学部	学科	授与者数
人間文化学部	日本語日本文学科	138 人
	英語コミュニケーション学科	179 人
	歴史文化学科	95 人
	国際学科	84 人
	計	496 人
人間社会学部	心理学科	82 人
	福祉社会学科	75 人
	現代教養学科	97 人
	初等教育学科	105 人
	計	359 人
生活科学部	環境デザイン学科	181 人
	管理栄養学科	77 人
	健康デザイン学科	82 人
	計	340 人
学部計		1,195 人

※2014 年 9 月の授与者数は含まない。

E.　主な就職先

学部学科	職種	主な就職先企業
人間文化学部 日本語日本文学科	一般事務職	農林中央金庫、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、ジャパンネット銀行、千葉興業銀行、さわやか信用金庫、三菱 UFJ トラストビジネス、三菱電機ビルテクノサービス、東日本ハウス
	総合職	しんきん信託銀行、富山第一銀行、旭化成ホームズ、トランス・コスモス、いるま野農業協同組合、小山農業協同組合、小田急交通
	準総合職	東京都民銀行、パナホームリフォーム
	営業職	富士通マーケティング、日本生命保険、明治安田生命保険、第一生命保険、住友生命保険、トヨタＵグループ
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、パナソニックホームエンジニアリング、オンワード樫山、資生堂販売
	公務員	東京都板橋区、千葉県市川市、茨城県日立市
	教員	狭山ヶ丘高等学校付属中学校
	記者	埼玉新聞社
	進学	昭和女子大学大学院
人間文化学部 英語コミュニケーション学科	一般事務職	日本銀行、三菱東京 UFJ 銀行、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、りそな銀行、常陽銀行、筑波銀行、三菱電機、住友電気工業、信越化学工業、日揮、岩谷産業、三井住友建設、日本貿易振興機構(ジェトロ)、日本中央競馬会、全日本海員組合、みずほインターナショナルビジネスサービス
	総合職	東京医科大学、トランス・コスモス、沖データ、ファーストリテイリング、テンプスタッフ、ベネフィット・ワン、茨城むつみ農業協同組合、佐久浅間農業協同組合、佐波伊勢崎農業協同組合、東海東京証券、日本イーライリリー
	準総合職	日本郵便、きらやか銀行、エイチ・アイ・エス、大和証券、みずほ証券、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、丸三証券、朝日生命保険、セディナ
	営業職	塩野義製薬、北陸銀行、日本生命保険、明治安田生命保険、第一生命保険、住友生命保険
	客室乗務職、地上職	日本航空、全日本空輸
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、JTB 首都圏、ANA スカイビルサービス、オンワード樫山、ユナイテッドアローズ、パナソニックホームエンジニアリング、資生堂販売、カネボウ化粧品販売、ワコール、加賀屋
	公務員	茨城県警察本部
	進学	広島大学大学院、昭和女子大学大学院
人間文化学部 歴史文化学科	一般事務職	みずほフィナンシャルグループ、常陽銀行、さわやか信用金庫、オリエントコーポレーション、大京アステージ、三井ホームコンポーネント、三井住友トラスト TA ソリューション、全日本海員組合、東日本ハウス
	総合職	国分、三井ホーム、スターツアメニティー、アパマンショップホールディングス、君津市農業協同組合
	準総合職	東京海上日動火災保険
	営業職	第一生命保険、明治安田生命保険
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、京王百貨店、パナソニックホームエンジニアリング、ソフトバンクモバイル、島忠、セルリアンタワー東急ホテル、京王プレッソイン
	教員	茨城県
	進学	國學院大學大学院、昭和女子大学大学院
人間文化学部 国際学科	一般事務職	三菱東京ＵＦＪ銀行、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、常陽銀行、とうかつ中央農業協同組合、みずほインターナショナルビジネスサービス、みずほビジネスサービス、伊藤忠ロジスティクス、野村貿易

	総合職	しんきん信託銀行、武蔵野銀行、全国健康保険協会、セコム、そごう・西武、マイナビ、沖データ、郵船ロジスティクス、IHI ビジネスサポート、山九
	準総合職	東京都民銀行、野村證券、丸三証券、東海東京証券
	営業職	日本生命保険、明治安田生命保険、第一生命保険
	客室乗務員、グランドスタッフ	日本航空、JAL スカイ、ANA エアポートサービス
	販売職、サービス職	ブルガリジャパン、ファーストリテイリング、ユナイテッドアローズ、ロイヤルパークホテル
	公務員	静岡県静岡市
	教員	神奈川県川崎市
	進学	University of BIRMINGHAM
人間社会学部 心理学科	一般事務職	三菱東京 UFJ 銀行、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、千葉興業銀行、東和銀行、さわやか信用金庫、極洋、大京アステージ、大和情報サービス、ジャックス、三菱 UFJ 住宅ローン保証
	総合職・準総合職	日本郵便、帝京大学、全国健康保険協会、アメリカンホーム保険、トランス・コスモス、ヤマトシステム開発、伊藤ハム販売
	営業職	第一生命保険、三井生命保険
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、花王カスタマーマーケティング
	公務員	茨城県警察本部、静岡県田方郡函南町、栃木県大田原市
	進学	大正大学大学院、昭和女子大学大学院
人間社会学部 福祉社会学科	福祉職	東京都知的障害者育成会、同愛会、武蔵野会、県央福祉会、オリックス・リビング、ベネッセスタイルケア、東京海上日動サミュエル
	保育士	東京都世田谷区、東京児童協会、こどもの森
	医療ソーシャルワーカー	杏林大学医学部付属病院、千葉大学医学部附属病院、横浜中央病院、菊名記念病院、福井記念病院
	一般事務職	全国銀行協会、三菱東京 UFJ 銀行、みずほフィナンシャルグループ、水戸信用金庫、ローム、大成有楽不動産販売
	総合職、準総合職	日本郵便、城南信用金庫、千葉信用金庫、トランス・コスモス、日本赤十字社、ニチイ学館、生活科学運営
	営業職	明治安田生命保険、住友生命保険
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、ミキハウス、赤ちゃん本舗
	公務員	警視庁
	進学	北海道大学大学院
人間社会学部 現代教養学科	一般事務職	三菱東京 UFJ 銀行、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、千葉興業銀行、筑波銀行、宮崎銀行、住友電気工業、ディスコ、岩谷産業、かんぽ生命、あいおいニッセイ同和損害保険、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、ホーチキ、五洋建設、三井不動産リアルティ
	総合職	大東銀行、北陸銀行、多摩信用金庫、コカ・コーライーストジャパン、富士通ゼネラル、トヨタアドミニスタ、トランス・コスモス、横浜農業協同組合、掛川市農業協同組合、上尾中央医療グループ、千葉都市モノレール、USEN
	準総合職	三井住友海上火災保険、SMBC 日興証券、SMBC フレンド証券、エイチ・アイ・エス
	営業職	日本生命保険、住友生命保険
	客室乗務員	全日本空輸
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、オンワード樫山、サマンサタバサグループ、コーセー

	公務員	埼玉県羽生市、静岡県伊豆市
	運転士・車掌	小田急電鉄、東日本旅客鉄道
	進学	千葉大学大学院
人間社会学部 初等教育学科	小学校教員	東京都、神奈川県、神奈川県横浜市、神奈川県川崎市、埼玉県、埼玉県さいたま市、千葉県、宮城県、静岡県
	幼稚園教員	東京都新宿区、昭和女子大学附属昭和幼稚園、杉並東洋幼稚園、亀戸幼稚園、こだま幼稚園、川崎ふたば幼稚園、健伸幼稚園
	保育士	東京都渋谷区、東京都世田谷区、東京都江東区、東京都杉並区、東京都葛飾区、東京都府中市、埼玉県さいたま市、埼玉県春日部市、埼玉県上尾市、千葉県我孫子市、茨城県つくば市
	総合職	東邦銀行、ボーネルンド
	一般職	東京三菱ＵＦＪ銀行、ローム、日本ハウズイング
	販売職	三越伊勢丹
	公務員	千葉県警察本部
生活科学部 環境デザイン学科	設計・製図職	大和ハウス工業、積水ハウス、旭化成ホームズ、三井ホーム、大成設備、東洋建設、一条工務店、トランス・コスモス、凸版印刷
	品質管理職	オンワード樫山、カケンテストセンター
	総合職	オリエンタルランド、YKKAP、大和ハウス工業、東京セキスイハイム、日本国土開発、電通テック、東急ハンズ、ロフト、昭和大学、マイナビ
	準総合職	日本郵便、パナホームリフォーム
	営業職	コイズミ照明、朝日生命保険
	一般事務職	みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、日本郵便、積水ハウス、旭化成ホームズ、東日本ハウス、日本ハウズイング、イトーキ、リンナイ、日本設計、三菱電機ビルテクノサービス
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、そごう・西武、クリナップ、パナソニックホームエンジニアリング、資生堂販売、カネボウ化粧品販売、サマンサタバサグループ、バーニーズジャパン
	進学	宮城大学大学院、千葉大学大学院、昭和女子大学大学院
生活科学部 管理栄養学科	栄養士、管理栄養士	東京都、埼玉県、千葉県、聖路加国際病院、戸田中央医科グループ、亀田総合病院、エームサービス関東、グリーンハウス、日清医療食品、ＬＥＯＣ、西洋フード・コンパスグループ、メフォス、富士産業、ＪＰホールディングス、ポピンズ
	研究開発、 品質管理職	キユーピー
	総合職、準総合職	キユーピー、日本ハム東販売、関東日本フード、ケイパック、クリエイトエス・ディー
	一般事務職	全国銀行協会、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行
	公務員	静岡県駿東郡長泉町
生活科学部 健康デザイン学科	栄養士	東京都調布市、エームサービス関東、日清医療食品、ＬＥＯＣ、富士産業、ＪＰホールディングス、セブン＆アイ・フードシステムズ
	研究開発、品質管理職	日本ハム惣菜、キユーピー醸造
	総合職、準総合職	紀文食品、インテック、シダックス、セントラルフーズ、ツルハ、ＳＭＢＣ日興証券、アプラス
	営業職	伊藤園

	販売職、サービス職	ミリアルリゾートホテルズ、三井不動産ホテルマネジメント、資生堂販売、コーセー、カワチ薬品
	一般事務職	三井住友銀行、住友電気工業、極洋、大京アステージ、三栄源エフ・エフ・アイ、三菱電機ビルテクノサービス

F.　主な進学先

学部名	進学先大学院等
人間文化学部	広島大学大学院、東京学芸大学大学院、國學院大學大学院、University of Bimingham、台湾師範大学、昭和女子大学大学院
人間社会学部	北海道大学大学院、千葉大学大学院、大正大学大学院、昭和女子大学大学院
生活科学部	千葉大学大学院、宮城大学大学院、昭和女子大学大学院

G.　産業別就職状況　（2015 年 4 月 20 日現在）

学部	人間文化学部					人間社会学部					生活科学部				
学科	日本語日本文	英語コミュニケーション	歴史文化	国際	計	心理	社会福祉	現代教養	初等教育	計	環境デザイン	管理栄養	健康デザイン	計	合計
就職者数	118	167	89	76	450	69	70	94	103	336	166	74	80	320	1106
農林水産業・鉱業・建設業	7.6%	4.8%	7.9%	0.0%	5.3%	1.4%	0.0%	7.4%	0.0%	2.4%	22.3%	0.0%	2.5%	12.2%	6.4%
不動産業	2.5%	3.6%	6.7%	3.9%	4.0%	4.3%	2.9%	5.3%	1.0%	3.3%	4.2%	0.0%	3.8%	3.1%	3.5%
製造業	8.5%	7.8%	4.5%	2.6%	6.4%	5.8%	4.3%	8.5%	2.9%	5.4%	6.6%	8.1%	21.3%	10.6%	7.3%
出版・印刷業	5.1%	0.0%	2.2%	0.0%	1.8%	1.4%	0.0%	1.1%	0.0%	0.6%	3.6%	0.0%	0.0%	1.9%	1.4%
卸売・小売業	20.3%	24.0%	25.8%	21.1%	22.9%	26.1%	10.0%	18.1%	1.9%	13.1%	28.3%	51.4%	37.5%	35.9%	23.7%
金融業	14.4%	18.6%	13.5%	19.7%	16.7%	15.9%	14.3%	23.4%	1.9%	13.4%	3.6%	4.1%	5.0%	4.1%	12.0%
運輸業	0.8%	3.0%	0.0%	6.6%	2.4%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	1.2%	1.2%	0.0%	2.5%	1.3%	1.7%
電気・ガス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育・学習支援	5.9%	3.0%	3.4%	3.9%	4.0%	1.4%	0.0%	1.1%	66.0%	20.8%	0.6%	2.7%	2.5%	1.6%	8.4%
医療・福祉	5.1%	1.2%	7.9%	5.3%	4.2%	11.6%	48.6%	3.2%	22.3%	20.2%	1.8%	23.0%	8.8%	8.4%	10.3%
調査研究・専門技術サービス	0.0%	1.8%	3.4%	1.3%	1.6%	2.9%	0.0%	1.1%	0.0%	0.9%	3.6%	0.0%	1.3%	2.2%	1.5%
放送・広告	1.7%	0.6%	1.1%	2.6%	1.3%	1.4%	0.0%	2.1%	0.0%	0.9%	2.4%	0.0%	0.0%	1.3%	1.2%
情報通信業	10.2%	7.8%	6.7%	5.3%	7.8%	14.5%	4.3%	8.5%	0.0%	6.3%	8.4%	0.0%	5.0%	5.6%	6.7%
サービス業	15.3%	23.4%	15.7%	26.3%	20.2%	8.7%	14.3%	13.8%	1.0%	8.9%	13.3%	2.7%	8.8%	9.7%	13.7%
公務	2.5%	0.6%	1.1%	1.3%	1.3%	4.3%	1.4%	2.1%	1.9%	2.4%	0.0%	8.1%	1.3%	2.2%	1.9%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※小数点第二位で四捨五入のため合計が 100%にならない場合がある

4. 東日本大震災被災者支援

A. 学生のボランティア活動

2011 年度からコミュニティサービスラーニングセンターで継続支援する宮城県石巻市と女川町で『東日本大震災被災地を応援する学生ワークキャンプ』を実施している。今年度の概要は次の通り。

- 開催日：8 月 6 日～8 月 10 日（4 泊 5 日）
- 参加学生数：23 人・引率教職員：2 人
- 活動内容：保育所・子育て支援センター支援、子どもの学習講座への補助、鳴り砂の浜清掃、図書修理、桜の会へのボランティア支援（草むしり）

B. 学納金等の支援

被災指定地域の受験生に対して、検定料・入学金・学納金の特別支援措置をとった。

対象受験生数：24 人	支援総金額：678,000 円

5. 地域貢献・連携活動

A. 子育て支援フェスタ

世田谷区後援・NPO 昭和等との共催で、子育て支援フェスティバル「三茶子育てファミリーフェスタ in 昭和女子大学」を本学キャンパスで開催した。

イベント名	三茶子育てファミリーフェスタ in 昭和女子大学
内容	学生と地域との協働による子ども子育て支援情報の提供
開催日時	2014 年 6 月 22 日（日）10:30～14:30
主催者等	主催：昭和女子大学／共催：特定非営利活動法人 NPO 昭和 後援：世田谷区
参加団体数	ボランティア学生が子どもとふれあう企画を催した団体：12 団体 実演と物品販売を行った団体：22 団体 協賛企業：27 社 ボランティア学生数：340 人
来場者数	約 1,200 人

B. 都市と農村を結ぶ文化交流活動

夏季休暇期間に地域貢献を中心としたボランティアプログラムとして、信州高遠青少年自然の家を拠点とした長野県伊那市との交流活動「伊那の谷・風の学校ワークキャンプ」を実施した。

学生は活動を通して、人と人、人とコミュニティの「縁」を結ぶ架け橋になることを目的に、伊那の人々が培ってきた経験や知識を体験的に学び、都市と農村の相互交流の「縁」を結ぶために何ができるかを考え提案した。

10 月 12 日には世田谷区羽根木公園で開催された「第 37 回雑居祭り」に出展。体験活動の発表とともに、伊那産の農作物を販売して学生が PR 活動した。

実施概要は次の通りである。

- 開催日：8 月 31 日～9 月 4 日（4 泊 5 日）
- 参加学生数：17 人　引率教職員：2 人
- 活動内容：参加学生は「子ども」と「食と農」のテーマで、3～4 名のチームに分かれ、5 つのフィールドワーク先で 1 泊し体験活動をした。

C. 区立小中学校と区内大学連携事業

区と大学との連携の下、区立学校等における教育活動の充実と一層の活性化を図るとともに、大学が持つ高度で専門的な教育資源を地域社会の発展に供与することを目的にしている。

- 活動先：区立小・中学校
- 期　間：4 月～2015 年 3 月末
- 参加学生数：29 人

D. 心理支援コミュニティサービスラーニング提携教育委員会との連携

平成 22 年度から心理支援コミュニティサービスラーニングで連携している 16 の行政機関との連携。

6. 産学連携活動

A. 2014 年度研究セミナー・公開講座一覧

開催日	テーマ	発表者	参加者数
5 月 31 日	公開講座「高齢社会のビジネスの可能性」	昭和女子大学教授 八代尚宏氏	31 人
6 月 21 日	研究セミナー「コミュニケーションの極意」	日本テレビ 上田まりえ氏	43 人
10 月 18 日	研究セミナー「女の子の力で世界を変えられるか」	電通 外崎郁美氏	67 人
1 月 31 日	公開講座「マッサン効果と企業のコミュニケーション戦略」	中央アド新社 古田土俊男氏	40 人
3 月 1 日	プロジェクト研究発表会		82 人

B. 2014 年度プロジェクト一覧

プロジェクト名	コラボ先 ＜担当者＞	参加 学生数	一般 参加者
セタコレブック 2014	IID 世田谷ものづくり学校 （協力：一般社団法人配財プロジェクト） ＜金子友美・金尾朗・橘倫央・内田敦子・菅井さゆり＞	17 人	企業 22
三茶さんちゃを楽しもう！プロジェクト	三軒茶屋銀座商店街振興組合他 7 商店街組合＜瀬沼頼子＞	14 人	42,000 人
手をつなごう♪ 下馬福祉工房＆福祉社会学科コラボカフェ	世田谷区福祉工房 ＜福祉社会学科福祉キャリアコース教員＞	25 人	13 人
渋産 ―シブサンアクリルプロジェクト―	[協働](有)アクリアル（協力：Roland DG,トロテックレーザージャパン,日東樹脂工業） ＜橘倫央＞	6 人	3,100 人
世田産 ―セタガヤデザインプロジェクト―	協働：世田谷区及び公益社団法人せたがや文化財団 （協力：相川樹脂工業,宇田川ブリキ,繁岡美術,友成工芸 [後援]世田谷区,世田谷区教育委員会 ＜橘倫央＞	5 人	1,500 人
木曽漆器デザインプロジェクト	塩尻・木曽地域地場産業振興センター ＜桃園靖子＞	5 人	
まちおこし応援プロジェクト　三軒茶屋 学生によるよいしょ祭りの企画・広報・運営	三軒茶屋銀座商店街振興組合 ＜木村信之＞	22 人	1,500 人
渋谷桜丘町づくり ―Beyond 246	渋谷駅前共栄会,桜丘町会＜友田博通＞	6 人	200 人
渋谷センター街七夕まつり	渋谷センター商店街振興組合＜友田博通＞	9 人	5,000 人
健康☆美カフェ in 望秀学寮	館山市,同教育委員会,栄養士養成施設協会 ＜小川睦美・白川哉子＞	20 人	200 人
タバタ式トレーニングでギネスに挑戦	立命館大学スポーツ健康科学部 ＜小川睦美・白川哉子＞	10 人	学内のみ 90 人
三茶・三宿まちなかプロジェクト	三軒茶屋まち道楽実行委員器,太子堂商店街,三宿四二〇商店会,世田谷パン祭り実行委員会,下の谷商店街,下の谷町 ＜鶴田佳子＞	9 人	11,000 人
フロアホッケー 昭和女子大学せたがやウッキーズ	せたがやウキウキクラブ（協働：NPO 法人日本フロアホッケー連盟 ,NPO 法人勇気の翼インクルージョン 2015） ＜渡辺剛・小森亜妃子＞	6 人	12,000 人

はこじょ創造プロジェクト 2014	一般社団法人はこねのもりコンソーシアムジャパン ＜藥袋貴久＞	8 人	90 人
Sweets Dream –setagaya-	昭和信金及び亀屋商店 ＜小川睦美・石井幸江・原正美＞	15 人	350 人
せたがや芸術文化プロジェクト	世田谷パブリックシアター/シアタートラム ＜福田淳子＞	8 人	
世田谷美術館「SeTaBi Café」 ピクニック・ランチボックスプロジェクト	世田谷サービス公社及び世田谷美術館附属レストラン支配人・シェフ ＜粕谷美砂子＞	10 人	1,000 人
ホンノバ・プロジェクト	特定非営利活動法人@リアス NPO サポートセンター,NPO これからの建築を考える伊東建築塾 ＜杉浦久子＞	15 人	70 人
これからの暮らしと女性	リスト株式会社,他関連企業 ＜金尾朗・金子友美・番場美恵子・芦川智＞	11 人	14 人
V カット技術を活かしたプロダクトデザインプロジェクト＋×＋ (Plus by Plus Design Project)	ジャパン・プラス ＜中田士郎＞ ※産学連携デザインイノベーション事業	10 人	企業担当者 4＋20 人
RYOZO project –越前和紙デザインプロジェクト–	柳瀬良三製紙所,キッソオ ＜橘倫央＞	9 人	193,860 人
BMW Motorrad×SWU –NECK TUBE DESIGN PROJECT–	ビー・エム・ダブリュー ＜橘倫央＞	8 人	99,739 人
ゆうきのつばさ inclusion award 2014	NPO 法人勇気の翼インクルージョン 2015, inclusion award 2014 実行委員会,アルファロメオジャパン,公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 ＜小森亜妃子＞	13 人	380 人
昭和女子大学　輝け☆健康「美」プロジェクト「フジランドとキャロットランチ」	フジランド ＜白川哉子・小川睦美>	48 人	1,200 人
昭和女子大学　輝け☆健康「美」プロジェクト「カーネルおじさんも、ビックリ！」	日本ケンタッキー・フライド・チキン ＜池田尚子・小川睦美＞	25 人	進行中
企画販売型インターンシップ	法政大学主催（7 大学） ＜現代ビジネス研究所＞	13 人	250 人
産業界のニーズに対応した教育改善事業・産業連携ビジネスコンテスト参加（法政大学主催 7 大学より希望者を募ったもの）	法政大学主催（7 大学） ＜現代ビジネス研究所＞	3 人	200 人
「和」販売促進型インターンシップ	東京家政大学主催（7 大学） ＜現代ビジネス研究所＞	4 人	200 人
産業界ニーズテーマ B インターンシップラリー	ダイヤモンド社（16 大学） ＜キャリア支援センター＞	13 人	480 人
「自分マーケティング講座」	明治学院大学主催（18 大学） ＜現代ビジネス研究所＞	4 人	50 人

7. 心身の健康増進

健康デザイン学科、管理栄養学科を中心に全学的な取り組み「輝け☆健康『美』プロジェクト」を立ち上げ、健康増進を図った。

プロジェクト名	コラボ先<担当者>	参加 学生数	一般 参加者
H＆Bメニュー提案	株式会社テーアールシーサービス	52	-
UP SHOWA エクササイズ		5	-
秋桜祭　企画運営		28	17,583 人
タバタ式トレーニング	立命館大学スポーツ健康科学部	10 人	学内 90 人
せたがやそだち	世田谷区	8 人	50 人
世田谷区　食環境づくり	世田谷区	20 人	不明
おでかけひろば SHIP 子育て講座		6 人	20 人
健康☆美カフェ in 望秀学寮	館山市,同市教育委員会,栄養士養成施設協会	20 人	200 人
大井町　地域活性	神奈川県大井町役場	5 人	800 人
パンレシピ提案	パングワン	54 人	500 人
フジランドとランチメニュー(1)	株式会社フジランド	26 人	600 人
フジランドとランチメニュー(2)	株式会社フジランド	48 人	600 人
フジランドとランチメニュー(3)	株式会社フジランド	48 人	1,300 人
NHK「ふるさとの食　日本の食」	日本放送協会	10 人	500 人
朝小サマースクール	朝日小学生新聞	22 人	多数
Sweets Dream –setagaya-	昭和信金,亀屋商店	19 人	350 人
冷凍食品開発とメニュー提案	株式会社大冷	22 人	多数
デルモンテ　新規飲料の開発	キッコーマン株式会社	29 人	-
カーネルおじさんも、ビックリ！	日本 KFC ホールディングス株式会社	25 人	進行中
ジェットスター　ホットミール	ジェットスター・ジャパン株式会社	4 人	-
P&B　Japan　2014 への出展	日本イージェイケイ株式会社	160 人	25,000 人

8. 科学研究費助成事業採択状況

2014 年度に科学研究費助成事業に採択された研究は以下の通りである。（新規 15・継続 24　合計 39 件）

種別	研究課題	氏名
1［継続］ 基盤研究（B）（一般）	日本人英語学習者の話し言葉・書き言葉のコーパス整備と 教材開発	池上嘉彦 特任教授
2［継続］ 基盤研究（B）（一般）	近世日越交流史の再構築	菊池誠一 教授
3［継続］ 基盤研究（B）（一般）	人格形成の中核となる幼・小・中連携による道徳教育推進 プログラムの開発に関する研究	押谷由夫 教授
4［新規］ 基盤研究（C）（一般）	ベトナム中部ホイアンの伝統衣服に関する研究	下村久美子 教授
5［新規］ 基盤研究（C）（一般）	日本における食用油脂及び油脂調理の変容と有用性の検証 ー食文化の視点からー	大橋きょう子 教授
6［新規］ 基盤研究（C）（一般）	日本人のモンゴル抑留に関する総合的研究	ボルジギン呼斯勒 准教授
7［新規］ 基盤研究（C）（一般）	日本文学作品とその映像化に関する文化的考察 ―川端康成の作品を手がかりに	福田淳子 准教授
8［新規］ 基盤研究（C）（一般）	日本のソーシャルワークにおけるコンサルテーションの スキル開発	北本佳子 教授
9［新規］ 基盤研究（C）（一般）	インクルーシブ保育に関わる保育者のエンパワメント プログラムの開発	石井正子 准教授
10［継続］ 基盤研究（C）（一般）	英語話者の物語コーパス作成とレキシカルフレーズ中心の リスニング教材の提供	金子朝子 教授
11［継続］ 基盤研究（C）（一般）	繊維遺物鑑別のための画像解析データベースの構築	伊藤美香 助教
12［継続］ 基盤研究（C）（一般）	保護者にとっての子どもの入園の意味 ―「親としての発達」の視点から	藤崎春代 教授
13［継続］ 基盤研究（C）（一般）	最新メディア教育を活用した幼小連携スタートプログラムの 開発研究	駒谷真美 准教授
14［継続］ 基盤研究（C）（一般）	日本の農山漁村における持続可能な生活経営と女性農業者の 情報アクセスに関する研究	粕谷美砂子 准教授
15［継続］ 基盤研究（C）（一般）	都市街区における路地空間の利用と空間的効果に関する研究	金子友美 准教授
16［継続］ 基盤研究（C）（一般）	次世代を担う女性における栄養素・食品摂取と心の健康に 関する研究	小西香苗 准教授
17［継続］ 基盤研究（C）（一般）	地方における狂言の伝承についての研究 ―馬瀬狂言資料を中心に―	山本晶子 准教授
18［継続］ 基盤研究（C）（一般）	古・中英語期の女性像の受容と変容 ―Aelfric のテクストと言語の基礎的研究	島﨑里子 准教授
19［継続］ 基盤研究（C）（一般）	二〇世紀前半に現在の中国領内で刊行された モンゴル語定期刊行物の研究	呼和巴特爾 教授
20［継続］ 基盤研究（C）（一般）	想定外の危機と組織の失敗 ―金融危機と原発危機の事例分析―	久原正治 特任教授
21［継続］ 基盤研究（C）（一般）	知的障害者の離職プロセスを手がかりとした就労モデルの 構築	根本治代 専任講師

22［継続］ 基盤研究（C）（一般）	心的距離による利用可能知識の接近可能性変化と その調整変数に関する実験研究	藤島喜嗣 准教授
23［継続］ 基盤研究（C）（一般）	咀嚼・嚥下過程での食塊挙動と食品の物性に関する 体系的研究	森髙初惠 教授
24［継続］ 基盤研究（C）（一般）	ベトナム・ハノイ 36 通り地区の景観および居住空間の 保存すべき特質	内海佐和子 非常勤講師
25［新規］ 若手研究(B)	日本人英語学習者と英語話者の相互行為における知識の共有 ：その過程と仕組みについて	山本綾 専任講師
26［新規］ 若手研究(B)	株主構成とペイアウト政策の関係性	保田隆明 准教授
27［継続］ 若手研究(B)	中世東国宗教と文芸伝承の綜合的研究－唱導、縁起、物語を 視座として	阿部美香 非常勤講師
28［継続］ 若手研究(B)	近世武家住宅における唐紙の用例に関する研究	小粥祐子 助教
29［継続］ 若手研究(B)	クエン酸の摂取は低酸素血症に伴う続発性多血症の食事療法 として有効か？	渡辺睦行 准教授
30［継続］ 若手研究(B)	学習者データに基づく文法記述の試み ―韓国語母語話者を対象に	植松容子 助教
31［継続］ 若手研究(B)	生活改善運動および新生活運動に関する基盤的研究	松田忍 専任講師
32［新規］ 挑戦的萌芽研究	中国人看護・介護従事者の研修から就労現場で必要となる 日本語と異文化対応能力の分析	大場美和子 准教授
33［新規］ 挑戦的萌芽研究	養介護施設従事者の虐待予防や再発防止につながる 人材育成プログラムモデルの構築	吉田輝美 准教授
34［新規］ 挑戦的萌芽研究	成人期の自閉症スペクトラムにおける視覚的認知の特異性に 関する神経心理学的検討	松永しのぶ 教授
35［継続］ 挑戦的萌芽研究	高等学校における道徳教育のグランドデザインの開発に 関する研究	押谷由夫 教授
36［新規］ 特別研究員奨励費	呼吸器疾患に伴う多血症の食事療法に関する研究 ～クエン酸からのアプローチ～	原百合恵 特別研究員
37［新規］ 学術図書	連歌文芸論	岸田依子 教授
38［新規］ 学術図書	IPPEN：The Japanese Buddhist "Sage Who Abandoned All"	早田啓子 准教授
39［新規］ ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI	日本語で世界とつながろう！！	鈴木洋子 特命教授

＊職名は 2014 年度時点

9. 委託研究・研究助成等

2014 年度に企業等から委託・助成を受けた研究は以下の通りである。（10 件）

種別	企業等	氏名
委託研究	世田谷区世田谷保健所	石井幸江 教授
委託研究	日本水産株式会社	渡辺睦行 准教授
共同研究	日本放送協会	平井聖 特任教授
共同研究	昭和産業株式会社	大橋きょう子 教授
共同研究	キリン株式会社	渡辺睦行 准教授
研究助成	公益財団法人平和中島財団	ボルジギン・フスレ 准教授
研究助成	日本フードサービス学会	藥袋貴久 准教授
奨学寄附金	株式会社伊藤園	森髙初惠 教授
その他	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター	中山栄子 教授
その他	独立行政法人国際協力機構	国際文化研究所

＊職名は 2014 年度時点

10. 図書館

2014 年度の蔵書数と図書貸出数は以下の通りである。

A.　蔵書数

種別	冊数等	内訳
図 書	496,127 冊	和書 427,655 冊（うち近代文庫 71,116） 洋書　68,472 冊（うち近代文庫 207）
雑 誌	17,232 タイトル	和雑誌 15,724 タイトル（うち近代文庫 5,098） 洋雑誌　1,508 タイトル（うち近代文庫 2）
新 聞	140 タイトル	和新聞　20 タイトル　洋新聞 14 タイトル 近代文庫 106 タイトル
視聴覚資料	3,207 タイトル	
電子ジャーナル	24,024 タイトル　（アクセス件数 37,369 件）	

B.　利用状況

開館日	258 日
入館者数	206,564 人　（1 日平均入館者数　800.6 人）
貸出冊数	合計　51,783 冊 大学院生　3,535 冊 在学年次生　36,849 冊 卒業年次生　11,399 冊 （学生 1 人あたり貸出数　9.6 冊）

11. 海外研修プログラム

A.　昭和ボストン研修プログラム

［対象］人間文化学部英語コミュニケーション学科・国際学科

プログラム名	研修期間	参加人数
英語コミュニケーション学科（必修・約 5 か月間） プログラム名＝University	9 月 17 日～2015 年 2 月 14 日	86 人
英語コミュニケーション学科（希望制・約 10 か月間） プログラム名＝Four Seasons Program	4 月 3 日～2015 年 2 月 13 日	77 人
英語コミュニケーション学科（選抜制・約 17 か月間） プログラム名＝Boston Long-term Intensive Program	9 月 16 日～2016 年 2 月中旬	21 人
国際学科（選択希望制・約 4 か月間） プログラム名＝DIS＋SAF Program	4 月 3 日～7 月 25 日	3 人
国際学科（必修・約 4 か月間） プログラム名＝DIS Immersion Program	9 月 16 日～2015 年 1 月 17 日	18 人
国際学科（必修・約 12 か月間） プログラム名＝DIS One Year Program	9 月 16 日～2015 年 7 月 24 日	24 人
合計		229 人

［対象］全学科

プログラム名	研修期間	参加人数
ボストン延長プログラム A. AIC ボストンキャリア開発プログラム B. エマニュエルカレッジ・ニューベリーカレッジ	 A. 7 月 28 日～8 月 22 日 B. 1 月 15 日～2 月 11 日	 A.13 人 B.34 人

［対象］全学科

プログラム名	研修テーマ	参加人数
ボストンサマーセッション 研修期間：8 月 18 日→9 月 16 日	アメリカ文化	10 人
	ホスピタリティ	14 人
	ミュージアム	10 人
	ボランティア	7 人
	ビジネス英語	3 人
	アート&デザイン	9 人
合計		53 人

［対象］英語コミュニケーション学科以外の学部学科

プログラム名	研修期間	参加人数
春期 15 週間ボストンプログラム	4 月 4 日～7 月 23 日	6 人
秋期 15 週間ボストンプログラム	9 月 16 日～2015 年 1 月 17 日	6 人

［対象］日本語教育・栄養士・教職関係（3 テーマ）

プログラム名	研修期間	参加人数
日本文化	2 月 18 日～3 月 4 日	32 人
アメリカ栄養士研修	2 月 18 日～3 月 4 日	30 人
春季アメリカ教育研修	3 月 7 日～3 月 23 日	17 人
合計		79 人

B.　海外宿泊研修

プログラム名	期間	参加人数	担当学科・専攻
ソウル女子大学夏季韓国語集中講座 ［韓国］	8 月 3 日～8 月 20 日	10 人	国際交流センター
ソウル女子大学夏季交流プログラム ［韓国］	8 月 11 日～8 月 21 日	1 人	国際交流センター
東南アジア歴史演習 ［ベトナム］	8 月 13 日～8 月 22 日	1 人	国際交流センター
スペイン語学研修 ［スペイン］	8 月 15 日～9 月 8 日 2 月 20 日～3 月 9 日	4 人	国際交流センター
海外考古学実習 ［ベトナム］	8 月 23 日～9 月 3 日	9 人	歴史文化学科
ロイヤルローズ大学海外インターンシップ ［カナダ］	8 月 24 日～9 月 16 日 2 月 14 日～3 月 10 日	13 人	国際交流センター
日本語教育実習 ［韓国］	9 月 1 日～9 月 14 日	2 人	日本語日本文学科
北欧福祉研修 ［デンマーク・スウェーデン］	9 月 2 日～9 月 11 日	21 人	福祉社会学科
海外デザイン演習 ［イタリア・スペイン・ポルトガル］	9 月 2 日～16 日	25 人	環境デザイン学科
海外デザイン演習 ［ベルギー・フランス］	9 月 10 日～18 日	23 人	環境デザイン学科
クイーンズランド大学英語研修 ［オーストラリア］	2 月 14 日～3 月 21 日	11 人	国際交流センター
ヨーロッパ歴史演習 ［スペイン・フランス・イタリア］	2 月 16 日～27 日	18 人	国際交流センター
ワシントン大学英語研修”STEP” ［アメリカ］	2 月 16 日～3 月 8 日	12 人	国際交流センター
上海交通大学中国語研修 ［中国］	2 月 28 日～3 月 22 日	1 人	国際交流センター
UC San Diego Language Program ［アメリカ］	3 月 1 日～3 月 27 日	4 人	国際交流センター

C.　海外協定校との交換留学制度

協定校	派遣人数 （うち必修認定留学：国際学科）	受入人数
上海交通大学［中国］	18 人（16 人）	3 人
ソウル女子大学［韓国］	12 人（11 人）	1 人
アルカラ大学［スペイン］	5 人（5 人）	－
国民大学［韓国］	4 人（3 人）	1 人
淑明女子大学［韓国］	2 人	－
タマサート大学［タイ］	2 人	－
西江大学［韓国］	1 人	－
クイーンズランド大学［豪州］	－	2 人
東海大学［台湾］	－	2 人
UCC 大学［デンマーク］	－	1 人

Ⅲ　附属昭和中学校・高等学校

1.　SGH 等グローバル化推進委員会

2014 年度は、中高部が今後 5 年間取り組む＜文部科学省指定「スーパーグローバルハイスクール」構想＞実現の初年度であり、言わば＜SGH 元年＞だった。これまで積み重ねてきた“昭和スタイル”を礎にしてさらに次の段階へと飛躍する年と位置付け目指す人物像を「グローバルに活躍する自らの未来設計ができる女性 Shine your light globally!」というスローガンに集約して以下の事業を実施した。

■委員会と活動内容

委員会	活動内容
SGH 企画委員会	SGH 実行委員会のメンバーの選出をはじめとして、1 年間の取組みのガイドラインを策定した。公開研究発表会を企画し 2015 年 1 月 24 日に実施した。
SGH 実行委員会	1. 課題研究のプロジェクト研究である 4 つの LABO を設立し、プログラムを実施した。 2. 自己発見プログラムである「サービスラーニング」を高等部の行学の時間に取り入れ実施した。 3. 自己発見プログラムである国内外研修旅行を実施。広島・関西、沖縄、ベトナムマレーシア、オーストラリアの 5 か所でそれぞれ研修を行い、その成果を 2015 年 1 月 24 日に発表した。
グローバルクラス設置委員会	1. 2012 年度中期計画で盛り込まれた 2016 年度スタートのグローバルクラスについて詳細を決定した。 2. 2016 年度の 1 年から 5 クラスの「本科コース」・1 クラスの「グローバル留学コース」を設置する。この学年が中学 3 年になる時に「スーパーサイエンスコース」を 1 クラス設置することに決定した。 3. 3 月から外部に向けて広報活動を開始した。

2.　研究授業

全教員が研究授業を行うとともに、他の教員の研究授業を 5 回以上参観し、お互いに授業力を高める機会にすることができた。

3.　海外等研修プログラム

A　選択制国内外研修旅行

研修先	研修期間	参加生徒数	引率教員数
広島・関西	12 月 19 日→12 月 22 日	4 年生・18 人	2 人
沖縄	12 月 19 日→12 月 22 日	4 年生・97 人	5 人
ベトナム	12 月 19 日→12 月 24 日	4 年生・38 人	3 人
マレーシア	12 月 19 日→12 月 24 日	4 年生・7 人	2 人
オーストラリア	12 月 19 日→12 月 25 日	4 年生・59 人	3 人

B　ボストン研修

The Boston Mission の参加人数は以下の通りである。

グループ名	研修期間	参加生徒数	引率教員数
第 1 班	2015 年 3 月　5 日→16 日	2 年生・106 人	7 人
第 2 班	2015 年 3 月 16 日→27 日	2 年生・106 人	6 人

C　英国短期留学

英国短期留学（希望者）の参加人数は以下の通りである。

研修先	研修期間	参加生徒数	引率教員数
イギリス	2015 年 3 月 15 日→3 月 30 日	35 人	2 人

4.　保護者との連携

保護者会を除く SPC（Showa Parents Club）活動（5 回）

実施日	内容	対象	参加数
5 月 14 日	学寮見学（東明学林）	1 年生	35 名
5 月 21 日	授業参観・授業評価	全校	390 家族
10 月 9 日	学寮見学（望秀寮）	2 年生	23 名
10 月 23 日	授業参観+クラブ見学会	全校	159 名
10 月 24 日	授業参観・授業評価	全校	195 名
12 月中旬―1 月 8 日	学校評価アンケート実施・集計公表	全校	1,360 名
7 月 19 日・3 月 23 日	「中高部通信」発行	全校	1,360 名

5.　進学状況

A　2014 年度卒業生の進路は、以下の通りである。

内容		人数
大学	学内進学者	76 人
	学内進学者（五修生）	15 人
	学外進学者	137 人
短大	学外進学者	3 人
専門学校進学者		4 人
海外・浪人等		3・8 人
合計		246 人

B　他大学合格実績は以下の通りである。

国公立	早慶上理	医科大医学部	GMARCH	その他大学
7 人	19 人	1 人	55 人	191 人

合格者は延べ人数

Ⅳ　附属昭和小学校

1.　教育の資質向上

A.　研究会への参加を奨励して教師の FD 活動を推進

①　初等部内での授業研究会･･･5 回

②　初任者研修会･･･10 回

③　全体研究会･･･6 回

④　日本私立小学校連合会夏季研修参加

⑤　東京私立初等学校協会の研修会参加

⑥　各種学外研修会に多数の教師が参加

B.　「第 5 回学校の創立を祝う会（5 月 1 日）」を実施

2～6 年生児童が寺薗淳也会津大学准教授（同窓会会員）の講話を聴く機会を設けた。

C.　各種大会等に参加

①　第 30 回東京私立小学校児童作品展「ほらできたよ」に出品

②　第 4 回世田谷子ども駅伝へ参加

③　第 4 回東京私立小学校ダンス発表会へ参加

④　第 28 回東京私立初等学校協会音楽祭「さあはじめよう」に参加

D.　初等部で文化行事を主催

①　映画「やなせたかしシアター」

②　公開ゲネプロ特別公演「ディズニー・オン・クラシック」

③　映画「赤毛のアン」

E.　教育実習を実施

教育実習生（初等部卒業生）１人・栄養教諭実習（初等部卒業生）１人を受け入れた。

2.　学校活動の変更

A.　教員委員会組織の編成替え

アフタースクール・一貫教育連携（BST 含）・学校評価・昭和祭・総合学習・メディア教育・教育相談・危機管理（アレルギー含）・いじめ対策・文化行事の１０委員会を設置し、学校における問題解決の対応力を強化した。

B.　アフタースクールの開設準備

全国の小学校のアフタースクールの先進取り組みを調査、研究し、本校におけるアフタースクールのあり方を模索。2015 年度春の開設に向けて準備作業を実施した。

C.　学校評価のあり方の見直し

保護者、児童、教員それぞれに対する評価項目の見直しを実施し、評価内容の分析と今後への活用を検討した。

D.　給食の業者委託への対応

2015 年度竣工予定の新厨房およびランチルーム竣工までの暫定的な給食の実施方法についての検討と業者対応を行った。

E.　入試に関わる手続きの変更

一般入試の出願方法を直接持参から期限限定の郵送に限った方法に改め、出願期間を短縮した。

3. 設備および備品の充実

A. システムの高機能化
携帯型情報端末を購入して校内での活用方法を模索した。

B. PC 連動のカラーコピー機を導入
教職員の教材作成や事務処理の低減を実施した。

4. 学校行事の変更・検討

A. 修学旅行の内容改定
7 月 20～24 日のアクティビティを再検討し、最終日の函館における児童の活動がより自主的に行えるよう改定した。

B. 海の学校の内容改定
那古海水浴場を使用しての海水浴を復活。

C. 校外学習の行き先を検討
6 年生の校外学習の行き先として「大山登山」について検討して下見を行った。

5. 他部署・施設と連携したプログラム

① 神奈川県大井町の花と緑の会の協力で東明学林で 4・5 年生全児童が田園学寮中に田植えを、秋に希望する保護者と児童が刈り取りを行った。
② 足柄の茶業センターと連携し、東明学林で 5 年生が茶摘みと製茶体験を行い、茶を通した産業学習を実施した。
③ 初等部教員が大学初等教育学科で特別講義を実施した。
④ 幼稚部年長と 5 年生、1 年生の交流授業を実施した。
⑤ ブリティッシュ・スクールの児童・生徒との共同学習、授業相互見学を実施した。
⑥ 幼稚部と合同の運動会を実施した。
⑦ 大学英語コミュニケーション学科の学生による初等部英語教育見学を実施した。
⑧ 幼稚部、中高部との合同教職員研修を実施した。
⑨ 昭和ナースリー、幼稚部保育延長園児への南側校庭の開放を実施した。

6. 海外研修

5・6 年生希望者を対象に「第 13 回ボストン昭和フレンドシップツアー」を実施した。
期間は 8 月 4 日～14 日。

7. 広報活動

3 月 8 日、りんごの木代表・絵本作家柴田愛子氏を招聘して「第 6 回・子育てフォーラム」を実施した。

V　附属昭和幼稚園

1.　幼小連携

A.　A 初等部教員朝礼に幼稚部教師 1 名が参加し、双方向同時連絡可能な場を実現した。
B.　幼小合同「昭和っ子の運動会」で、年長児と 5 年生のペア競技をプログラムに組んで練習し、運動会で実施した。
C.　年長組親子を中心に初等部の文化行事（映画鑑賞）に参加した。
D.　図工・理科の専科指導を初等部に依頼し、年長組を中心に実施した。
E.　年長児は、2 年生・5 年生と、日常保育の中でも交流を行った。特に 5 年生とは、初めての鍵盤ハーモニカの指導、英語指導等の交流授業を行った。

2.　FD 活動の推進

以下の教職員研修会に参加した。また、各種団体開催の教員研修会（計 8 研修）には個別に参加した。

主催者	内容
（社）東京都私立幼稚園教育研修会・ 東京都私学財団	6 月 20 日：子ども・子育て支援制度への対応について 6 月 26 日：幼児のケガへの対応 7 月 30 日、8 月 1 日：企業等派遣研修（ミサワホーム） 10 月 1 日：公開保育参加「武蔵野東第一・第二幼稚園」　他 計 12 研修
世田谷区私立幼稚園協会 世田谷区子ども部子ども家庭課	5 月 27 日：子どもの心を大切にした保育～保育の見直しと育ちの関係～ 6 月 25 日：子ども・子育て支援制度説明会 2 月 18 日：世田谷区私立幼稚園協会研究発表大会　他 計 5 研修

3.　預かり保育（幼稚園独自）開始

幼稚部独自の預かり保育 2 年目が 4 月 1 日よりスタート。2014 年度は年長児 1、年中児 13、年少児 6 の計 20 人が利用して希望者が昨年度よりも増加した。

4.　認定こども園計画

A.　2014 年 4 月から新園舎建設の為、仮園舎での保育を開始した。（80 年館西棟・1・2 階使用）
B.　7 月に旧園舎解体工事が開始し、10 月 16 日に地鎮祭が行われ工事が開始した。
C.　新園舎は 2015 年 8 月に完成予定。2016 年 3 月までは幼稚園として使用して 4 月から幼保連携型認定こども園「昭和女子大学附属昭和こども園」として運営する予定。

5.　私立幼稚園情報交換会

東急・小田急沿線の附属幼稚園 16 園が集まり、募集活動についての情報交換会を行った。
1 月 25 日には情報交換会独自の「第 3 回私立幼稚園合同相談会」を開催した。

Ⅵ　人見記念講堂

2014 年度に大学の授業として実施した講演・コンサートは以下の通りである。

A　文化研究講座（全 18 講座）

日付	公演者
4 月 28 日	新日本フィルハーモニー交響楽団
5 月 13 日	古典芸能・歌舞伎鑑賞会
5 月 22 日	平松混声合唱団　夢 ～Dream of life～
5 月 27 日	チャイコフスキー作曲　オペラ「王女 イオランタ」
6 月 3 日	前橋汀子&松本和将（ヴァイオリン&ピアノ）
6 月 27 日	ジャズ・コンサート　Jazz meets Pops & Animation Songs
7 月 1 日	ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団
7 月 4 日	古典芸能・落語鑑賞会
10 月 7 日	コルネリア・ヘルマン　ピアノリサイタル
10 月 16 日	Disney on CLASSIC
10 月 21 日	オルフェイ・ドレンガー　～スウェーデン王立男声合唱団～
10 月 23 日	劇団四季ミュージカル「ジーザス・クライスト・スーパースター」
11 月 18 日	オペラ・アリア・コンサート
11 月 26 日	ウィーン弦楽四重奏団
11 月 27 日	カピタン・ロシア民族アンサンブル
12 月 4 日	ドレスデン国立歌劇場室内管弦楽団
12 月 8 日	読売日本交響楽団　ベートーヴェン「第九」合唱付
12 月 16 日	映画「終戦のエンペラー」

B　女性教養講座（全 15 講座）

日付	演題	講師
4 月 23 日	【齋藤 孝×坂東眞理子 公開対談】 会話に強くなる	明治大学教授　齋藤 孝　氏
5 月 21 日	グローバル時代を生きる ―混迷する世界と日本の針路―	前国連大使・広島大学特任教授・平和科学研究センター長　西田恒夫　氏
6 月 4 日	グローバル人材育成推進事業シンポジウム 女性は世界を変える。	基調講演 駐日米国大使　キャロライン・ケネディ　氏 パネリスト 伊藤忠商事株式会社取締役会長　小林栄三　氏 国際連合広報センター所長　根本かおる　氏 本学キャリアカレッジ学院長　熊平美香　氏 昭和女子大学　坂東眞理子　学長
6 月 25 日	貧困女子なんて、言わせない	国立社会保障・人口問題研究所　社会保障応用分析研究部長　阿部 彩　氏
7 月 2 日	日本妖精伝	シンガーソングライター・小説家 さだまさし　氏
7 月 5 日	最近考えること	法務大臣・衆議院議員　谷垣禎一　氏
7 月 9 日	女性のリーダーシップ 20/30 について	衆議院議員・自民党広報本部長　小池百合子　氏
10 月 15 日	コミュニティデザイン	Studio-L 代表・東北芸術工科大学教授・京都造形芸術大学教授・慶應義塾大学特別招聘教授 山崎 亮　氏
10 月 22 日	ジェンダーという視点から見た女性の心と体	医学博士・日本医科大学特任教授・昭和女子大学客員教授　海原純子　氏
10 月 29 日	「自分濃度」を薄めて美しく。	月読寺住職・正現寺住職　小池龍之介　氏
11 月 5 日	フォロワーシップについて	大谷大学教授・せんだいメディアテーク館長 鷲田清一　氏
11 月 12 日	スポーツの価値 ―アスリートと社会―	筑波大学体育系准教授・ソウル五輪女子柔道銅メダリスト・（公財）日本オリンピック委員会理事　山口 香　氏
11 月 19 日	「やりたいことで喰う！」試行錯誤の道 （現在進行形）	ヤッサン一座紙芝居師　髙田真理　氏
12 月 10 日	食べ物とともに歩んだ私の道	横浜国立大学名誉教授　澁川祥子　氏
12 月 17 日	日本の若者に期待する	元内閣官房副長官・社会福祉法人恩賜財団母子愛育会理事長・東京都社会福祉協議会会長 古川貞二郎　氏

＊肩書きは講演時のもの

Ⅶ　光葉博物館

1.　展覧会

2014 年度に実施した展覧会は以下の通りである。

日程	内容
4 月 2 日～4 月 16 日	光葉博物館収蔵　授業資料展 2014　～宮廷装束を中心として～
5 月 17 日～6 月 22 日	［春の特別展］　学生と共に歩んだ近代文庫　―雑誌を中心として―
7 月 20 日～8 月 24 日（13 日間）	［収蔵資料展］　世界の仮面
11 月 5 日～12 月 4 日	［秋の特別展］　東欧の広場　―海外都市広場調査 21 年間の足跡―
1 月 13 日～2 月 9 日	新春収蔵資料展
2 月 23 日～3 月 16 日	卒業制作展 2014

2.　刊行物

2014 年度に発行した刊行物は以下の通りである。

A　光葉博物館報 No.18

B　春の特別展「学生と共に歩んだ近代文庫　―雑誌を中心として―」展覧会図録

C　秋の特別展「東欧の広場　―海外都市広場調査 21 年間の足跡―」展覧会図録

D　「昭和女子大学光葉博物館コレクション　日本の郷土玩具Ⅱ　―土―」目録

Ⅷ 昭和ボストン

1. 施設の活用状況

2014 年度に提供した他大学・社会人研修プログラムは以下の通りである。（全 5 プログラム）

プログラム名	対象	期間	人数
Boston Summer Session	立命館大学	8 月 19 日～9 月 16 日	24 人
Boston Summer Session	大学コンソーシアム京都	8 月 19 日～9 月 16 日	6 人
Boston Summer Session	札幌国際大学	8 月 19 日～9 月 16 日	1 人
Boston Summer Session	立教大学	8 月 19 日～9 月 16 日	2 人
Boston Summer Session	神田外語大学	8 月 19 日～9 月 16 日	2 人

Ⅸ　地域連携センター

2013 年 8 月 1 日、教員・学生の地域研究・活動を推進すると同時に、地域の人的資源を活用し、産官学連携を推進する機関として、地域連携センターを設立した。

A.　オープンカレッジ一般

2014 年度の開設講座数と述べ受講者数は以下の通りである。

開設講座数	479 講座
延べ受講者数	3,401 人

B.　特別公開講座

2014 年度に開設した昭和女子大学特別公開講座プログラムは以下の通りである。(全 14 回)

講座名		開講日	受講者数
1	再生医療	5 月 31 日	12 人
2	自分の理想体重を見つけよう	6 月 7 日	4 人
3	アレルギー疾患は治るのか?	6 月 21 日	11 人
4	健康の情報・広告を読み解く	6 月 21 日	4 人
5	健康と食べ物の味	7 月 5 日	14 人
6	楽しく運動をすると健康になる	7 月 5 日	12 人
7	健康増進のための簡単レシピ	7 月 12 日	7 人
8	サプリメントや健康食品の情報と正しい使い方	7 月 19 日	17 人
9	何となく気をつけよう！－食べると歩く異口同音－	7 月 26 日	11 人
10	昭和キャンパスの自然を見る	10 月 25 日	28 人
11	狂言を楽しむ	11 月 15 日	34 人
12	ハイドンと東欧のフォークロア	12 月 13 日	19 人
13	冬のスウェーデン家庭料理	1 月 31 日	16 人
14	江戸城のインテリア	2 月 28 日	35 人
合計			224 人

C.　大学との連携

2014 年度の特別奨学金（キャリアアップ奨励金）対象講座と受講大学生数は次の通りである。

講座名	受講者数
公務員試験対策講座	22 人

D.　世田谷区との協働事業

①　世田谷区就労支援センター「三茶おしごとカフェ」での出前公開講座を実施した。
テーマ「地域の外国人とのコミュニケーションのために」

第 1 回 10 月 30 日（木）15:00～17:00 参加者数：24 人	テーマ：『日本語教師のお仕事とは』 講　師：日本語日本文学科 植松　容子　助教
第 2 回 11 月 6 日（木）15:00～17:00 参加者数：18 人	テーマ：『外国人に伝わる日本語とは』 講　師：日本語日本文学科 大場　美和子　准教授
第 3 回 12 月 4 日（木）15:00～17:00 参加者数：12 人	テーマ：『留学生との交流会』 講　師：日本語日本文学科 西川　寿美　教授

②　学生グローカルプロジェクト
モンゴルの暮らしー子供の遊び　～モンゴル伝統のおもちゃ「ジャガイ」で遊ぼう～
モンゴル人留学生が中心となり、世田谷の「次大夫堀公園民家園」を会場に、モンゴルに古くから伝わる「ジャガイ」という遊びを紹介した。

- 日時：11 月 1 日 10:30-12:00
- 会場：世田谷区立次大夫堀公園民家園「旧加藤家住宅主屋」
- 参加人数：学生 12 人・一般 8 人

E.　イベント

①　日・カリブ交流年／日・ジャマイカ外交関係樹立 50 周年記念シンポジウム
「Women can Change the World」」
全て英語で行われたシンポジウムは、学生も記録と運営のスタッフとして参加した。
日時：12 月 6 日（土）14:00-16:00
内容：■基調講演
坂東眞理子学長、シャロン・フォルケス＝アブラハムス（ジャマイカ産業・投資・商業省担当国務大臣）、猪口邦子参議院議員（日・カリブ友好議員連盟役員、元少子化大臣）、弓削昭子法政大学教授（前 UNDP 駐日代表・総裁特別顧問）
■パネルディスカッション
モデレーター：坂東眞理子学長
パネリスト　：シャロン・フォルケス＝アブラハムス国務大臣、猪口邦子参議院議員、弓削昭子法政大学教授
参加者数：学生 50 人、一般 26 人

②　特別公開講座番外編『ジャマイカという国そして人』
シンポジウムのプレイベントとして実施した。

- 日時：11 月 22 日（土）14:00-15:30
- 講演者：ジャマイカ大使館　リカルド・アリコック駐日大使
- 参加者数：学生 12 人、一般 26 人

F. インターンシップ

① オープンカレッジインターンシップ「夏休みこども講座」

チラシ・ポスター制作、講座準備・当日サポート等を 2 人の学生が担当した。

開催日	内容	受講者数
7 月 26 日	「子どもクラフト教室 A」	15 人
8 月 1 日	「KIDS フラワーアレンジメント」	10 人
8 月 5 日	「みんなの科学実験室」「ルネと遊ぼう！ジャグリング&バルーンアート」	37 人
8 月 6 日	「KIDS カルトナージュ」	10 人
8 月 7 日	「KIDS クッキング」「子どもクラフト教室 B」「子ども墨絵教室」	25 人
8 月 8 日	「子ども絵画教室」	15 人
8 月 21 日	「KIDS クッキング」	12 人
8 月 26 日	「夏休み英語プロジェクト A/B」	32 人

② 昭和女子大学地域連携センター×城南信用金庫

≪プロジェクト型協働インターンシップ≫

城南信用金庫企画部の全面協力により、プロジェクト型インターンシップを実施。地域情報誌「さんちゃさんぽ」のコンセプト決定や誌面構成、取材、記事作りまですべて学生の企画で作成した。2 月には関係者を招待し、グローバルラウンジで発表会を行った。参加学生は 6 人。

G. キャリアカレッジ

生涯にわたる女性のキャリアを支援するため、2014 年 5 月に設立したキャリアカレッジでは、社会人として実務経験を持つ人から管理職・起業を目指す人まで幅広い年代の女性を対象としている。

ビジネスの基礎を学ぶ「ビジネス基礎講座」、組織マネジメントを学ぶ「ステップアップ実践講座」、「起業家養成実践講座」の 3 つの講座がある。

各講座と受講者数

① 起業家養成実践講座（5 月 10 日開講・全 9 回）＝受講者数：14 人

② ビジネス基礎講座（10 月 2 日開講・全 7 回）＝受講者数：24 人

③ ステップアップ実践講座（10 月 4 日開講・全 6 回）＝受講者数：24 人

④ 公開講座およびシンポジウム

■特別講演会「女性の活躍で日本を変える！」

日時：8 月 9 日（土）10:00～12:00・参加者数：82 人

記念講演：AERA 浜田敬子編集長：『女性の活躍で日本を変える！』

講話：キャリアカレッジ熊平美香学院長：『キャリアカレッジで学ぶ社会人女性のステップアップ』

■公開シンポジウム『子育てしながらキャリアを創る』by 昭和女子大学キャリアカレッジ×AERA ワーキングマザー1000 人委員会

日時：11 月 29 日（土）13:00～15:00・参加者数：49 人

パネルディスカッション

コーディネーター：「AERA」編集部　小林明子 氏　パネラー：「AERA」ワーキングマザー3 人

■特別講演会「女性がやりたいことを実現する起業」

日時：3 月 14 日（土）13:00～15:00・参加者数：65 人

女性起業家講演：和テンション株式会社代表取締役　鈴木康子 氏

株式会社 INNOVA GLOBAL 代表取締役　藤嶋京子 氏

日本政策金融公庫創業支援部グループリーダー　永沼智佳 氏

キャリアカレッジ　熊平美香学院長

X	その他の関連事業

特定非営利活動法人 NPO 昭和

1. 「子育てステーション世田谷」の運営と地域貢献活動

世田谷区の委託を受けて子育てステーションを運営し、積極的に自主事業を実施した。

子育てステーション世田谷（昭和女子大学オープンカレッジ棟内）	
施設名	状況
昭和ナースリー	認証保育所・認定こども園（0 歳児から就学前） 2015 年 4 月初日の在籍児童数は 71 人（定員 66 人）
おでかけひろば SHIP	区内子育て家族の集いのひろば　開設日数 357 日 年間のべ 13,921 組・27,794 人（1 日平均 39.0 組、77.9 人） スタッフが、1,459 件の子育て相談に対応した。 高齢者との交流・マタニティ支援講座・ふたごの会・離乳食講座等、毎月イベント講座を実施した。
ほっとステイ SHIP DAY NURSERY	区内在住の就学前の子どもの一時あずかり施設 開設日数 357 日、年間のべ 3,203 人（1 日平均 9 人）を保育した。
発達相談	年間 22 回開設。NPO 職員と昭和女子大学生活心理研究所スタッフが相談に対応した。 1.　個別発達相談：220 件の相談に対応した。 2.　ペアレント・トレーニング：幼児・小学生別に 3～8 人の保護者グループを実施した。年間 4 グループ（各 6 回）、参加のべ人数 149 人。

2. 「世田谷区立男女共同参画センターらぷらす」の運営と地域貢献活動

A　施設の利用状況（2015 年 3 月 31 日現在）

利用者数	91,651 人
研修室稼働率	62.8%
登録団体	367 団体

B　事業展開

世田谷区の男女共同参画拠点施設として、数々の活動を展開した。

①　講座等事業

事業	内容	参加者数
講座事業	1　男女共同参画基礎講座 2　女性の就業・起業支援講座 3　子育て支援講座 4　心と身体の健康講座 5　DV など社会問題・課題を理解する講座	778 人
学校出前講座事業	高等学校：5 校　中学校：6 校	1,750 人
区民企画協働事業	応募総数 27 件、採択団体 6 件 1　女性起業ネットワークー暮らしスタイル応援協会 2　(社福)子どもの虐待防止セミナー 3　(特非)マドレボニータ世田谷チーム 4　せたがや働く女性応援委員会 5　Career-A 6　しんぐるまざあず・ふぉーらむ世田谷	266 人
地域との連携・ネットワーク事業	1　らぷらすフェスタ 2　わくわくワークフェスタ 3　しもきたきっずハロウィン	4,514 人
居場所づくり事業	1　シングルマザーのほっとサロン 2　女性のためにニットカフェ 3　シネマ de りらっくす	203 人
ギャラリー事業	1　2013 ベストリーダー 2　女と男のつぶやき川柳展 3　世界の男女共同参画ポスター展 4　多様性に配慮した防災カフェ 5　起業ミニメッセ Who's Who 6　DV の啓発を考えるパープルリボンプロジェクト 7　STOP！人身売買 8　区民企画協働　～地域とともに	1,811 人
合計		9,322 人

②　「わくわくワークフェスタ」の開催

世田谷区内女性起業家が出展する「起業ミニメッセ」と講演会・親子向けイベントを企画・運営した。

日時	11 月 8・9 日 11:00～17:00
場所	三軒茶屋キャロットタワー　4・5 階　生活工房
起業ミニメッセ出展・事業者数	2,992 人　55 団体
実施イベント	1.　起業講座&サロン ①　女性の起業で、社会を変える最強の子育て寄り合い！ 講師：甲田恵子さん（株式会社 AsMama 代表取締役） ②　ロイヤルブルーティー成功物語 講師：吉本佳子さん（ロイヤルブルーティージャパン代表取締役社長） ほか世田谷区の女性起業家 4 名 2.　女性のための起業何でも相談

	相談員：中小企業診断士溝口晃子氏、金綱潤氏、片山由美氏 新井秀樹日本政策金融公庫創業支援センター所長 3.　親子イベント （ア）親子でダンス、ダンス！リトミック 講師：内村佳織さん（劇団みるき～うぇい） （イ）親子で１・２　バルーン体操 講師：街のお楽しませやさん・梅ちゃん

③　「らぷらすフェスタ」の開催

世田谷区男女共同参画センターらぷらすと、らぷらす登録団体・区民との交流を図った。

日時	6 月 29 日（日）
場所	世田谷区立男女共同参画センターらぷらす　10・11 階
参加者	801 人
実施イベント	1.　らぷらす交流会 第 1 部：講師　岸本葉子さん（エッセイスト） 第 2 部：ランチで交流～ボサノバを聴きながら 2.　しもきたパパ・バギーの日リトミック大会 講師：内村香織さん（劇団みるき～うぇい） 3.　みんなのニットカフェ 講師：齋藤美樹氏（sora no mori 主宰） 4.　親子で工作　おもちゃ作り　講師：NPO 法人えこひろば 5.　パイ焼き茶房　社会福祉法人はる 6.　起業ひろば　世田谷の女性起業家 6 人による出展

④　情報誌の発行

男女共同参画事業に関する理解を広め、らぷらすの認知度と利用の向上のため情報誌を発行した。

① 情報ガイド「らぷらすぷらす」	年 4 回発行 （6 月 16 日、9 月 15 日、12 月 15 日、3 月 16 日）
② ライブラリーニュース	同上

⑤　蔵書の充実と利用の促進

昭和女子大学の教授や図書館司書と選書会議を開催し、施設の蔵書を充実させて利用を促進した。

蔵書数	図書	ビデオ	行政資料
17,412 冊	15,253 冊	229 冊	1,930 冊

登録者数
5,447 人

3　財務の概要

Ⅰ　消費収支計算書

1.　帰属収入

2014 年度は学生寮・緑声舎の売却に伴う資産売却差額を計上したことで、帰属収入は前年度に比べ 58 億 6,400 万円の増収となる 178 億 2,700 万円となった。前年度の 119 億 6,300 万円を上回り 4 年連続で過去最高を更新した。主要な増減要因等は以下の通りである。

A.　**学生生徒納付金**

大学院・附属中高部で減収となったが、大学学部で学生数の増加および過年度の学納金改定による増収となった。各種学校ブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和（以下 BST 昭和）を加えると 92 億 8,400 万円となり、8 年連続で過去最高を更新した。

B.　**手数料**

手数料のうち入学検定料は大学部門で 4,557 万 9,000 円減少し、附属校で 660 万円の減少となった。

C.　**寄付金**

昭和学園奨学金基金募金が 9 年目となり 1,327 万円の寄付があった。

D.　**補助金**

経常費補助金が 3,270 万 8,000 円増収したが、「グローバル人材育成推進事業」、「産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」、「私立大学教育研究活性化設備整備事業」等の競争的補助金が昨年より減少して全体では 3,247 万 3,000 円の減収となった。

E.　**資産運用収入**

円安の進行等で受取利息・配当金が増収したことで 5,000 万円の増加となり、施設使用料と合わせて 3 億 3,400 万円となった。

F.　**資産売却差額**

緑声舎の売却益 57 億 6,509 万円を計上した。また、有価証券売却差額 2,757 万円と動産売却差額を計上した。

G.　**事業収入**

2,900 万円増の 2 億 5,800 万円を計上した。内訳は補助活動収入（寮費収入、及び、預かり保育料）が 2,900 万円増加し、受託事業収入、公開講座収入は昨年度と同様であった。

H.　**雑収入**

退職金財団等交付金収入の減収により 5,600 万円減収の 3 億 7,500 万円となった。

2.　基本金組入額

基本金組入額として 40 億 1,500 万円を計上した。

A.　**第 1 号基本金**

北校地の取得分、こども園の 2014 年度工事分、80 年館西棟建設の支払い分、およびその他施設設備関係支出に伴う組入れのほか、借入金返済・未払金支出に伴う過年度の未組入額を組み入れ、組入額は 11 億 9,500 万円となった。

B.　**第 2 号基本金**

こども園の 2015 年度建設工事費用 8 億 1,500 万円、北校舎建設費用 19 億円、および学園インフラ工事 1 億 500 万円の合計 28 億 2,000 万円を計上した。

3. 消費支出

消費支出は 8 億 4,900 万円増加して 121 億 3,800 万円となった。主要な増減要因等は以下の通りである。

A. **人件費**

退職給与引当金繰入額が減少し、全体では 5 億 8,600 万円の減少となる 61 億 7,000 万円となった。人件費比率（人件費/帰属収入）は資産売却差額の影響により 21.9%減少し、34.6%となった。また、人件費依存率（人件費/学納金）も 7.6%減少して 66.5%となった。

B. **経常経費**

一般経費で 7 億 300 万円増加し、減価償却額で 1,000 万円増加して経常経費全体で 7 億 1,300 万円の増加となった。一般経費の増加要因として、留学関連費用の増加、新学生寮の賃借料、旧学生寮売却に伴う公租公課の支払、及び、消費税率の改定が主な要因である。

C. **借入金等利息**

借入金等利息は 900 万円減少した。

D. **資産処分差額**

7 億 8,700 万円を計上した。主な内訳として、会津キャンプ村売却に伴う不動産処分差額 3 億 5,700 万円、同建物除却差額 2 億 3,400 万円、幼稚園解体に伴う建物除却 2,900 万円、機器備品の除却 1,000 万円である。また、図書に関して 1 億 2,700 万円の図書除却額を計上した。

E. **徴収不能額**

徴収不能額は発生していない。徴収不能引当金として 30 万 2,000 円を計上した。

4. 帰属収支差額

以上の結果、帰属収入から消費支出を控除した帰属収支差額は 56 億 8,900 万円となった。

5. 消費収支差額

基本金組入後は 16 億 7,400 万円の消費収入超過となっており、繰越消費支出超過額は 16 億 7,400 万円改善の 119 億 7,200 万円となった。

Ⅱ　資金収支計算書

消費収支計算書の説明以外での特記事項は次の通りである。

1.　収入

A.　**借入金等収入**

入学支度金貸付資金として公益財団法人東京都私学財団から借入れた 120 万円である。

B.　**資産売却収入**

緑声舎および会津キャンプ村の売却と、短・中期運用の有価証券の償還金収入である。

C.　**前受金収入**

授業料等の前受金の 27 億 3,700 万円である。

2.　支出

A.　**施設関係支出**

北校地の取得、昭和インターナショナルハウスの土地建物取得、こども園建設工事、省エネ機器設置工事、トイレ改修工事、中央グラウンド人工芝張替工事等が中心で、設備関係支出はコンピュータ教室パソコンの更新など情報システムの環境整備を重点的に推進したことによる増加である。

B.　**資産運用支出**

主として短・中期運用の有価証券の購入支出である。

C.　**その他の支出**

2010 年度に奨学金制度を見直したことにより、新制度による人見記念奨学金貸付金、昭和学園奨学金貸付金支払支出が増加している。

Ⅲ　貸借対照表

1.　資産

A.　有形固定資産

北校地および昭和インターナショナルハウスの取得等で土地が 20 億 2,600 万円増加となった一方で、緑声舎と会津キャンプ村の売却で、建物・構築物が 14 億 1,900 万円減少し、教育研究用機器備品が 600 万円増加して図書が 8,400 万円の減少となった。

B.　その他の固定資産

特定資産として第 2 号基本金引当特定資産を計上したため 41 億 3,600 万円の増加となった。

C.　流動資産

第 2 号基本金特定資産への組入もあり 16 億 3,900 万円の減少となっている。

2.　負債

固定負債のうち長期借入金は返済により 2 億 300 万円の減少となったほか、退職給与引当金は 1 億 3,200 万円の減少となった。

なお、退職給与引当金は、従来から期末要支給額の 100%相当額の引当を行っている。

流動負債のうち前受金は 5 億 9,300 万円の減少となった。

3.　基本金・消費収支差額

基本金は新たな組入により第 1 号基本金が 11 億 9,500 万円の増加となったほか、第 2 号基本金を 28 億 2,000 万円今年度新たに計上した。

年度末の翌年度繰越消費収支差額は、16 億 7,400 万円改善され 119 億 7,200 万円の消費支出超過となった。

財 産 目 録

平成27年3月31日 現在

Ⅰ資産総額	49,729,456,975 円
内 基本財産	42,705,825,360 円
運用財産	7,023,631,615 円
収益事業用財産	0 円
Ⅱ負債総額	8,474,146,530 円
Ⅲ正味財産	41,255,310,445 円

区分		金額
資産額		
1基本財産		
土地	205,120.81 ㎡	9,562,323,854 円
建物	121,464.33 ㎡	13,874,307,327 円
図書	553,270 冊	1,884,392,394 円
教具・校具・備品	16,429 点	1,453,507,484 円
その他		15,931,294,301 円
2運用財産		
現金預金		5,592,700,799 円
その他		1,430,930,816 円
3収益事業用財産		0 円
資 産 総 額		49,729,456,975 円
負債額		
1固定負債		
長期借入金		1,113,510,000 円
その他		3,113,969,681 円
2流動負債		
短期借入金		204,070,000 円
その他		4,042,596,849 円
負 債 総 額		8,474,146,530 円
正味財産（資産総額－負債総額）		41,255,310,445 円

比較資金収支計算書

（単位：千円）

収入の部			
科目	2013年度	2014年度	増減
学生生徒等納付金収入	9,123,067	9,284,389	161,322
手数料収入	361,927	315,974	△ 45,953
寄付金収入	35,013	37,460	2,447
補助金収入	1,458,687	1,426,214	△ 32,473
資産運用収入	283,716	333,534	49,818
資産売却収入	6,100,083	13,356,072	7,255,989
事業収入	228,986	257,595	28,609
雑収入	429,600	305,147	△ 124,453
借入金等収入	1,200	1,200	0
前受金収入	3,329,484	2,736,909	△ 592,575
その他の収入	890,168	821,505	△ 68,663
資金収入調整勘定	△ 3,110,518	△ 3,585,238	△ 474,720
前年度繰越支払資金	4,182,051	3,907,873	△ 274,178
収入の部合計	**23,313,464**	**29,198,634**	**5,885,170**

支出の部			
科目	2013年度	2014年度	増減
人件費支出	6,674,035	6,232,117	△ 441,918
教育研究経費支出	2,311,882	2,695,086	383,204
管理経費支出	990,457	1,309,874	319,417
借入金等利息支出	34,291	25,424	△ 8,867
借入金等返済支出	483,770	269,190	△ 214,580
施設関係支出	1,594,497	4,392,748	2,798,251
設備関係支出	557,878	338,524	△ 219,354
資産運用支出	6,455,895	7,476,269	1,020,374
その他の支出	1,604,716	1,637,528	32,812
資金支出調整勘定	△ 1,301,830	△ 770,827	531,003
次年度繰越支払資金	3,907,873	5,592,701	1,684,828
支出の部合計	**23,313,464**	**29,198,634**	**5,885,170**

比較消費収支計算書

（単位：千円）

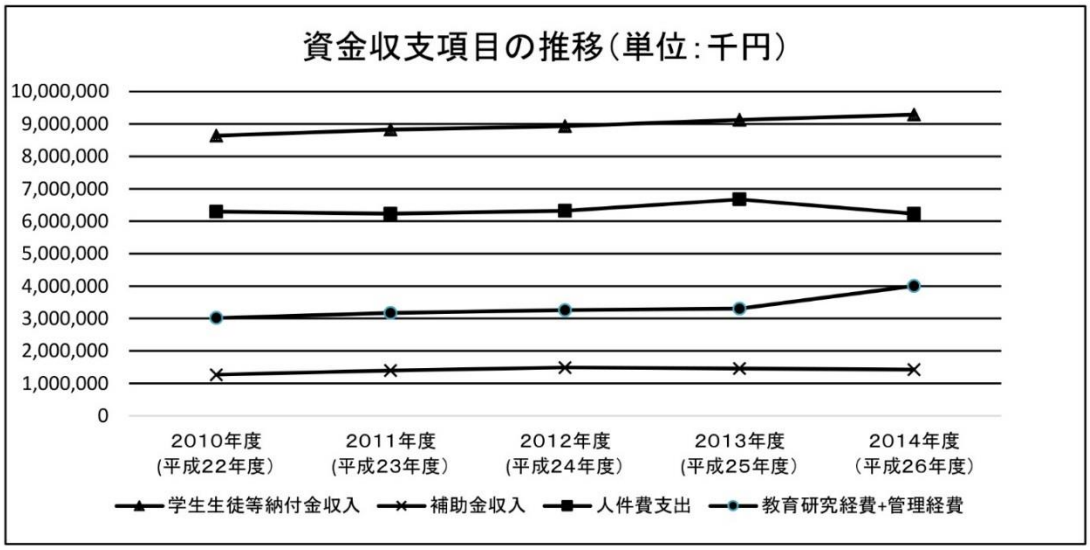
消費収入の部			
科目	2013年度	2014年度	増減
学生生徒等納付金	9,123,067	9,284,389	161,322
手数料	361,927	315,974	△ 45,953
寄付金	40,305	41,370	1,065
補助金	1,458,687	1,426,214	△ 32,473
資産運用収入	283,716	333,534	49,818
資産売却差額	35,453	5,792,820	5,757,367
事業収入	228,986	257,595	28,609
雑収入	430,572	375,365	△ 55,207
帰属収入合計	**11,962,713**	**17,827,261**	**5,864,548**
基本金組入額合計	**△ 1,678,637**	**△ 4,015,102**	**△ 2,336,465**
消費収入の部合計	**10,284,076**	**13,812,159**	**3,528,083**
消費支出の部			
科目	2013年度	2014年度	増減
人件費	6,755,569	6,170,329	−585,240
（うち退職給与引当金繰入額）	(631,585)	(159,357)	472,228
教育研究経費	3,387,270	3,798,143	410,873
（うち減価償却額）	(1,075,956)	(1,102,589)	(26,633)
管理経費	1,056,233	1,357,641	301,408
（うち減価償却額）	(64,710)	(47,795)	16,915
借入金等利息	34,291	25,423	−8,868
資産処分差額	45,968	786,482	740,514
徴収不能引当金繰入額	0	302	302
徴収不能額	9,754	0	−9,754
消費支出の部合計	**11,289,085**	**12,138,320**	**849,235**
当年度帰属収支差額	673,628	5,688,941	5,015,313
当年度消費収支差額	△ 1,005,009	1,673,839	2,678,848
前年度繰越消費収支差額	△ 13,915,013	△ 13,645,653	269,360
基本金取崩額	1,274,369	0	△ 1,274,369
翌年度繰越消費収支差額	△ 13,645,653	△ 11,971,814	1,673,839

比較貸借対照表

（単位：千円）

資産の部			
科目	2013年度末	2014年度末	増減
固定資産	**36,993,636**	**42,705,825**	**5,712,189**
有形固定資産	**26,635,705**	**28,212,143**	**1,576,438**
土地	7,536,223	9,562,324	2,026,101
建物・構築物	15,643,803	14,256,221	△ 1,387,582
教育研究用機器備品	1,382,492	1,394,764	12,272
図書	1,968,052	1,884,392	△ 83,660
その他	105,135	1,114,442	1,009,307
その他の固定資産	**10,357,931**	**14,493,682**	**4,135,751**
特定資産	3,115,328	5,841,520	2,726,192
その他	7,242,603	8,652,162	1,409,559
流動資産	**8,661,802**	**7,023,632**	**△ 1,638,170**
現金預金	3,907,873	5,592,701	1,684,828
その他	4,753,929	1,430,931	△ 3,322,998
資産の部合計	**45,655,438**	**49,729,457**	**4,074,019**
負債の部			
科目	2013年度末	2014年度末	増減
固定負債	**4,592,104**	**4,227,480**	**△ 364,624**
長期借入金	1,316,380	1,113,510	△ 202,870
退職給与引当金	3,135,667	3,003,942	△ 131,725
その他	140,057	110,028	△ 30,029
流動負債	**5,496,965**	**4,246,666**	**△ 1,250,299**
短期借入金	269,190	204,070	△ 65,120
前受金	3,329,484	2,736,909	△ 592,575
その他	1,898,291	1,305,687	△ 592,604
負債の部合計	**10,089,069**	**8,474,146**	**△ 1,614,923**
基本金の部			
科目	2013年度末	2014年度末	増減
第1号基本金	48,465,022	49,660,125	1,195,103
第2号基本金	0	2,820,000	2,820,000
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	747,000	747,000	0
基本金の部合計	**49,212,022**	**53,227,125**	**4,015,103**
消費収支差額の部			
科目	2013年度末	2014年度末	増減
翌年度繰越消費収支差額	△ 13,645,653	△ 11,971,814	1,673,839
消費収支差額の部合計	**△ 13,645,653**	**△ 11,971,814**	**1,673,839**
科目	2013年度末	2014年度末	増減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	**45,655,438**	**49,729,457**	**4,074,019**

（参考1）資金収支推移

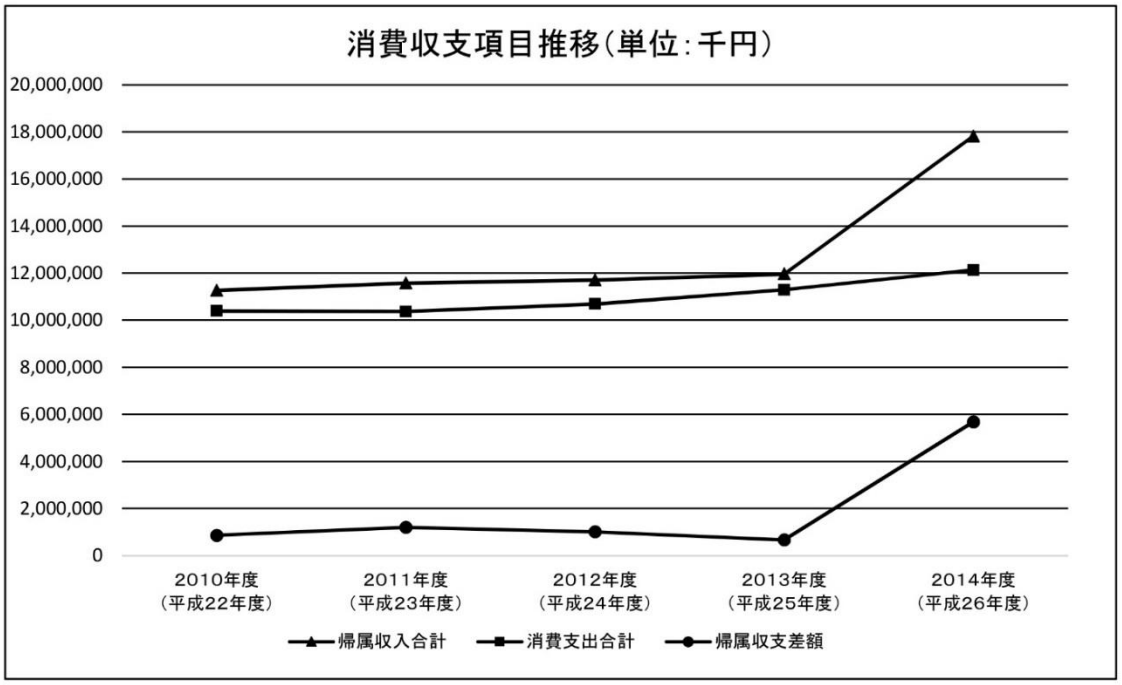


（単位：千円）

収入の部					
科目	2010年度（平成22年度）	2011年度（平成23年度）	2012年度（平成24年度）	2013年度（平成25年度）	2014年度（平成26年度）
学生生徒等納付金収入	8,637,700	8,828,591	8,933,725	9,123,067	9,284,389
手数料収入	255,948	268,748	360,416	361,927	315,974
寄付金収入	81,688	240,811	39,643	35,013	37,460
補助金収入	1,269,159	1,397,996	1,491,223	1,458,687	1,426,214
資産運用収入	264,573	246,290	244,140	283,716	333,534
資産売却収入	10,204,429	9,719,208	8,184,717	6,100,083	13,356,072
事業収入	343,038	303,191	245,274	228,986	257,595
雑収入	399,374	288,140	382,499	429,600	305,147
借入金等収入	1,200	1,000	600	1,200	1,200
前受金収入	2,256,953	2,398,214	2,668,571	3,329,484	2,736,909
その他の収入	482,968	700,636	639,881	890,168	821,505
資金収入調整勘定	△ 2,826,422	△ 2,475,498	△ 2,704,863	△ 3,110,518	△ 3,585,238
前年度繰越支払資金	4,692,063	3,013,036	4,078,532	4,182,051	3,907,873
収入の部合計	**26,062,671**	**24,930,363**	**24,564,358**	**23,313,464**	**29,198,634**

支出の部					
科目	2010年度（平成22年度）	2011年度（平成23年度）	2012年度（平成24年度）	2013年度（平成25年度）	2014年度（平成26年度）
人件費支出	6,292,080	6,238,255	6,326,303	6,674,035	6,232,117
教育研究経費支出	2,114,603	2,226,409	2,266,764	2,311,882	2,695,086
管理経費支出	903,865	946,963	996,827	990,457	1,309,874
借入金等利息支出	59,804	51,300	42,807	34,291	25,424
借入金等返済支出	422,010	420,810	421,610	483,770	269,190
施設関係支出	375,295	347,492	346,427	1,594,497	4,392,748
設備関係支出	188,765	259,501	301,565	557,878	338,524
資産運用支出	12,619,488	10,170,510	9,597,677	6,455,895	7,476,269
その他の支出	646,522	748,471	855,227	1,604,716	1,637,528
資金支出調整勘定	△ 572,797	△ 557,880	△ 772,900	△ 1,301,830	△ 770,827
次年度繰越支払資金	3,013,036	4,078,532	4,182,051	3,907,873	5,592,701
支出の部合計	**26,062,671**	**24,930,363**	**24,564,358**	**23,313,464**	**29,198,634**

（参考2）消費収支推移

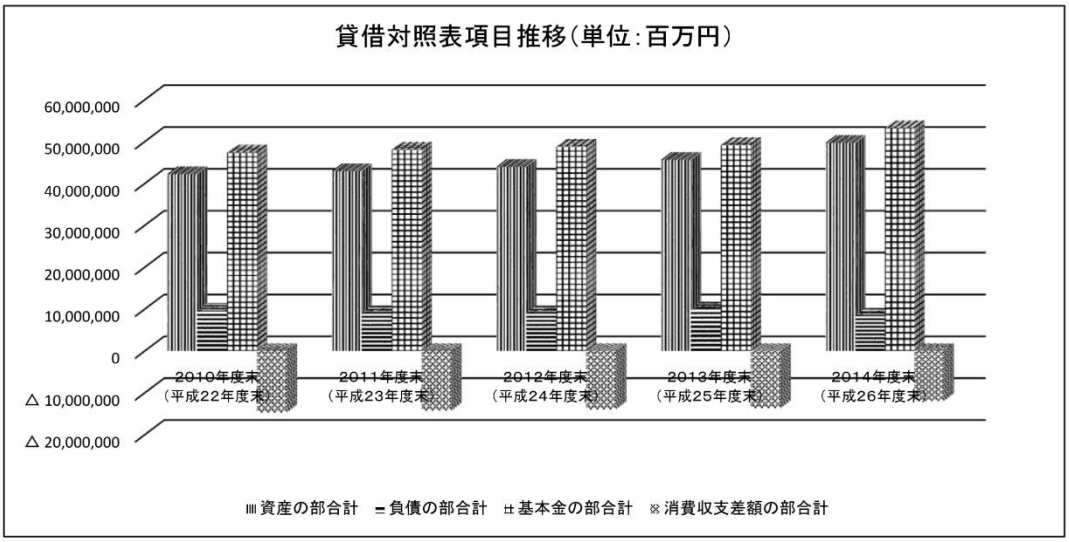


（単位：千円）

消費収入の部					
科目	2010年度（平成22年度）	2011年度（平成23年度）	2012年度（平成24年度）	2013年度（平成25年度）	2014年度（平成26年度）
学生生徒等納付金	8,637,700	8,828,591	8,933,724	9,123,067	9,284,389
手数料	255,948	268,748	360,416	361,927	315,974
寄付金	99,592	245,618	45,427	40,305	41,370
補助金	1,269,159	1,397,996	1,491,223	1,458,687	1,426,214
資産運用収入	264,573	246,290	244,140	283,716	333,534
資産売却差額	75	93	204	35,453	5,792,820
事業収入	343,039	303,191	245,274	228,986	257,595
雑収入	399,374	288,140	389,900	430,572	375,365
帰属収入合計	**11,269,460**	**11,578,667**	**11,710,308**	**11,962,713**	**17,827,261**
基本金組入額合計	**△ 372,277**	**△ 736,723**	**△ 698,582**	**△ 1,678,637**	**△ 4,015,102**
消費収入の部合計	**10,897,183**	**10,841,944**	**11,011,726**	**10,284,076**	**13,812,159**

消費支出の部					
科目	2010年度（平成22年度）	2011年度（平成23年度）	2012年度（平成24年度）	2013年度（平成25年度）	2014年度（平成26年度）
人件費	6,264,079	6,033,051	6,268,431	6,755,569	6,170,329
（うち退職給与引当金繰入額）	(345,526)	(96,863)	(259,617)	(631,585)	(159,357)
教育研究経費	3,093,149	3,249,421	3,304,879	3,387,270	3,798,143
（うち減価償却額）	(978,999)	(1,022,965)	(1,038,662)	(1,075,956)	(1,102,589)
管理経費	970,523	1,019,229	1,051,797	1,056,233	1,357,641
（うち減価償却額）	(65,641)	(72,131)	(54,174)	(64,710)	(47,795)
借入金等利息	59,804	51,300	42,807	34,291	25,423
資産処分差額	3,341	1,842	11,868	45,968	786,482
徴収不能引当金繰入額	4,796	1,565	155	0	302
徴収不能額	3,063	18,026	14,808	9,754	0
消費支出の部合計	**10,398,755**	**10,374,434**	**10,694,745**	**11,289,085**	**12,138,320**
当年度帰属収支差額	870,705	1,204,233	1,015,563	673,628	5,688,941
当年度消費収支差額	498,428	467,510	316,981	△ 1,005,009	1,673,839
前年度繰越消費収支差額	△ 15,198,761	△ 14,700,333	△ 14,231,994	△ 13,915,013	△ 13,645,653
基本金取崩額	0	829	0	1,274,369	0
翌年度繰越消費収支差額	△ 14,700,333	△ 14,231,994	△ 13,915,013	△ 13,645,653	△ 11,971,814

（参考3）貸借対照表推移



（単位：千円）

資産の部					
科目	2010年度末（平成22年度末）	2011年度末（平成23年度末）	2012年度末（平成24年度末）	2013年度末（平成25年度末）	2014年度末（平成26年度末）
固定資産	**34,532,237**	**33,966,924**	**33,421,303**	**36,993,636**	**42,705,825**
有形固定資産	**27,584,370**	**27,100,384**	**26,646,418**	**26,635,705**	**28,212,143**
土地	8,495,223	8,495,223	8,495,223	7,536,223	9,562,324
建物・構築物	16,186,110	15,610,560	15,023,756	15,643,803	14,256,221
教育研究用機器備品	1,026,021	1,072,627	1,133,462	1,382,492	1,394,764
図書	1,839,279	1,882,827	1,930,011	1,968,052	1,884,392
その他	37,737	39,147	63,966	105,135	1,114,442
その他の固定資産	**6,947,867**	**6,866,540**	**6,774,885**	**10,357,931**	**14,493,682**
特定資産	3,291,645	3,247,281	3,171,227	3,115,328	5,841,520
その他	3,656,222	3,619,259	3,603,658	7,242,603	8,652,162
流動資産	**7,723,002**	**9,007,112**	**10,567,887**	**8,661,802**	**7,023,632**
現金預金	3,013,036	4,078,533	4,182,051	3,907,873	5,592,701
その他	4,709,966	4,928,579	6,385,836	4,753,929	1,430,931
資産の部合計	**42,255,239**	**42,974,036**	**43,989,190**	**45,655,438**	**49,729,457**

負債の部					
科目	2010年度末（平成22年度末）	2011年度末（平成23年度末）	2012年度末（平成24年度末）	2013年度末（平成25年度末）	2014年度末（平成26年度末）
固定負債	**5,874,033**	**5,257,595**	**4,790,201**	**4,592,104**	**4,227,480**
長期借入金	2,488,150	2,067,540	1,647,130	1,316,380	1,113,510
退職給与引当金	3,317,208	3,112,005	3,054,132	3,135,667	3,003,942
その他	68,675	78,050	88,939	140,057	110,028
流動負債	**3,708,259**	**3,839,262**	**4,306,247**	**5,496,965**	**4,246,666**
短期借入金	420,810	421,610	421,010	269,190	204,070
前受金	2,256,953	2,398,214	2,668,572	3,329,484	2,736,909
その他	1,030,496	1,019,438	1,216,665	1,898,291	1,305,687
負債の部合計	**9,582,292**	**9,096,857**	**9,096,448**	**10,089,069**	**8,474,146**

基本金の部					
科目	2010年度末（平成22年度末）	2011年度末（平成23年度末）	2012年度末（平成24年度末）	2013年度末（平成25年度末）	2014年度末（平成26年度末）
第1号基本金	46,426,280	47,132,173	47,800,755	48,465,022	49,660,125
第2号基本金	0	0	0	0	2,820,000
第3号基本金	200,000	230,000	260,000	0	0
第4号基本金	747,000	747,000	747,000	747,000	747,000
基本金の部合計	**47,373,280**	**48,109,173**	**48,807,755**	**49,212,022**	**53,227,125**

消費収支差額の部					
科目	2010年度末（平成22年度末）	2011年度末（平成23年度末）	2012年度末（平成24年度末）	2013年度末（平成25年度末）	2014年度末（平成26年度末）
翌年度繰越消費収支差額	△ 14,700,333	△ 14,231,994	△ 13,915,013	△ 13,645,653	△ 11,971,814
消費収支差額の部合計	**△ 14,700,333**	**△ 14,231,994**	**△ 13,915,013**	**△ 13,645,653**	**△ 11,971,814**
科目	2010年度末（平成22年度末）	2011年度末（平成23年度末）	2012年度末（平成24年度末）	2013年度末（平成25年度末）	2014年度末（平成26年度末）
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	**42,255,239**	**42,974,036**	**43,989,190**	**45,655,438**	**49,729,457**

（参考4）財務関係比率（単位：%）

イ. 消費収支計算書関係比率推移

			昭和女子大学					全国平均	差異	評
			(H22年度)	(H23年度)	(H24年度)	(H25年度)	(H26年度)	(H25年度)		
1	人件費比率	人件費／帰属収入	55.6	52.1	53.5	56.5	34.6	52.4	−17.8	▼
2	人件費依存率	人件費／学生生徒等納付金	72.5	68.3	70.2	74.1	66.5	72.4	−5.9	▼
3	教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	27.5	28.1	28.2	28.3	21.3	31.5	−10.2	△
4	管理経費比率	管理経費／帰属収入	8.6	8.8	8.9	8.8	7.6	8.8	−1.2	▼
5	借入金等利息比率	借入金等利息／帰属収入	0.5	0.4	0.4	0.3	0.1	0.3	−0.2	▼
6	帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出／帰属収入	7.7	10.4	8.7	5.6	31.9	5.2	26.7	△
7	消費収支比率	消費支出／消費収入	95.4	95.7	97.1	109.8	87.9	107.8	−19.9	▼
8	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金／帰属収入	76.7	76.3	76.3	76.3	52.1	72.4	−20.3	～
9	寄付金比率	寄付金／帰属収入	0.9	2.1	0.4	0.3	0.2	2.2	−2.0	△
10	補助金比率	補助金／帰属収入	11.3	12.1	12.7	12.2	8.0	12.8	−4.8	△
11	基本金組入率	基本金組入額／帰属収入	3.3	6.4	6.0	14.0	22.5	12.1	10.4	△
12	減価償却費比率	減価償却額／消費支出	10.1	10.6	10.2	10.1	6.5	11.7	−5.2	～

ロ. 貸借対照表関係比率推移

			昭和女子大学					全国平均	差異	評
			(H22年度)	(H23年度)	(H24年度)	(H25年度)	(H26年度)	(H25年度)		
1	固定資産構成比率	固定資産／総資産	81.7	79.0	76.0	81.0	85.9	86.7	−0.8	▼
2	流動資産構成比率	流動資産／総資産	18.3	21.0	24.0	19.0	14.1	13.3	0.8	△
3	固定負債構成比率	固定負債／総資産	13.9	12.2	10.9	10.1	8.5	7.2	1.3	▼
4	流動負債構成比率	流動負債／総資産	8.8	8.9	9.8	12.0	8.5	5.4	3.1	▼
5	自己資金構成比率	自己資金／総資産	77.3	76.6	79.3	77.9	83.0	87.4	−4.4	△
6	消費収支差額構成比率	消費収支差額／総資産	−34.8	−33.1	−31.6	−29.9	−24.1	−12.2	−11.9	△
7	固定比率	固定資産／自己資金	105.7	103.2	95.8	104.0	103.5	99.2	4.3	▼
8	固定長期適合率	固定資産／自己資金＋固定負債	89.6	89.0	84.2	92.1	93.9	91.7	2.2	▼
9	流動比率	流動資産／流動負債	208.3	234.6	245.4	157.6	165.4	245.9	−80.5	△
10	総負債比率	総負債／総資産	22.7	21.2	20.7	22.1	17.0	12.6	4.4	▼
11	負債比率	総負債／自己資金	29.3	27.7	26.1	28.4	20.5	14.4	6.1	▼
12	前受金保有率	現金預金／前受金	133.5	170.1	156.7	117.4	204.3	327.9	−123.6	△
13	退職給与引当預金率	退職給与引当特定預金（資産）／退職給与引当金	51.3	54.6	55.7	54.2	56.6	67.1	−10.5	△
14	基本金比率	基本金／基本金要組入額	95.4	95.8	96.1	95.9	97.2	97.1	0.1	△
15	減価償却比率	減価償却累計額／減価償却資産取得価格（図書を除く）	54.6	56.6	58.4	58.0	58.9	48.0	10.9	～

（注）平均は、医歯系法人を除く大学法人である。（引用：平成26年度版今日の私学財政（大学・短期大学編） 日本私立学校振興・共済事業団）

評：△高い値が良い　▼低い値が良い　～どちらともいえない

※ 自己資金＝基本金＋消費収支差額

平成２７年５月２８日

学校法人　昭和女子大学

理　事　会　御　中

評 議 員 会 御 中

学校法人　昭和女子大学

監　事　　河村　幹夫

監　事　　川﨑　朝夫

監　査　報　告　書　(写)

私たちは、学校法人昭和女子大学の監事として、「私立学校法」第３７条第３項及び「学校法人昭和女子大学寄附行為」第１９条の規定に基づき、学校法人昭和女子大学の平成２６年度（平成26 年４月１日から平成27年３月３１日まで）の業務並びに財産の状況について監査を実施しました。

私たちは、監査に当たり、理事会、評議員会、常勤役員会、その他重要な会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類などを閲覧しました。
私たちは、会計監査人『あずさ監査法人』と連携し、「私立学校振興助成法」第１４条第３項の規定に基づく説明を受け、計算書類について検討しました。
私たちは、「学校法人昭和女子大学内部監査規程」第２１条の規定に基づき、監査室と連携し、定期的に内部監査報告を受け、意見交換を行いました。
以上の通り、必要と思われる監査手続きを執行しました。

その結果、学校法人昭和女子大学の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類すなわち資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細書、借入金明細書及び基本金明細書を含む。）並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、収支及び財産の状況を正しく示しており、業務又は財産に関して不正の行為又は法令若しくは「学校法人昭和女子大学寄附行為」に抵触する重大な事実はないものと認めました。

以上